

令和7年度（2025年度） 学校推薦型選抜学生募集要項

【インターネットを利用した出願です】

【学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）】

〈教育学部（特別支援教育コース）・経済学部・医学部（看護学科）・理工学部・福祉健康科学部〉

出願期間 令和6年（2024年）11月1日（金）～ 11月7日（木）

試験日 令和6年（2024年）11月20日（水）

合格者発表 令和6年（2024年）12月2日（月）

※経済学部学校推薦型選抜Ⅰ（商業推薦）の試験当日の集合時間は
変更する場合があります。詳細は30ページを確認してください。

【学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）】

〈教育学部（初等中等教育コース）・理工学部（建築学プログラム）〉

出願期間 令和6年（2024年）11月1日（金）～ 11月7日（木）

試験日 令和6年（2024年）11月20日（水）

合格者発表 令和7年（2025年）2月12日（水）

不測の事態により、学生募集要項どおりに試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合は、試験の延期等の対応をとることがあります。

対応については、本学ホームページでお知らせしますので、ご確認ください。

大分大学ホームページ <https://www.oita-u.ac.jp/index.html>



令和6年（2024年）9月

令和7年度（2025年度）学校推薦型選抜における主な変更点

【教育学部】

- 特別支援教育コース学校推薦型選抜において、以下のとおり学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）から学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）へ変更します。

（1）推薦要件

【変更前】

推薦要件	人物的に優れ、かつ、特別支援教育に対する意欲と情熱を有し、教員としての適性がある者
------	---



【変更後：令和7年度入学者選抜以降】

推薦要件	(1) 人物的に優れ、かつ、特別支援教育に対する意欲と情熱を有し、教員としての適性がある者 (2) 学業成績が優秀であり、調査書の学習成績概評がA段階に属する者
------	---

（2）配点

【変更前】

大学入学共通テスト	面接		合計
	個人面接	グループディスカッション	
900	300	300	1500



【変更後：令和7年度入学者選抜以降】

小論文	面接		合計
	個人面接	グループディスカッション	
100	150	100	350

【理工学部】

- DX人材育成基盤プログラムに学校推薦型選抜Ⅰ・総合型選抜Ⅰを導入します。
- 生命・物質化学プログラムにおける学校推薦型選抜推薦区分を変更します。

募集人員

【変更前】

プログラム	学校推薦型選抜Ⅰ			学校推薦型選抜Ⅱ		総合型選抜Ⅰ
	一般推薦	女子枠	サイエンス推薦	一般推薦	女子枠	
知能情報システムプログラム	5	2	2			5
電気エネルギー・電子工学プログラム	9	2				2
機械工学プログラム	8	2				5
知能機械システムプログラム	4	1	1			1
生命・物質化学プログラム	7	4	1			
地域環境科学プログラム						2
建築学プログラム				3	2	4
合計	33	11	4	3	2	19



【変更後：令和7年度入学者選抜以降】

プログラム	学校推薦型選抜Ⅰ			学校推薦型選抜Ⅱ		総合型選抜Ⅰ
	一般推薦	女子枠	サイエンス推薦	一般推薦	女子枠	
知能情報システムプログラム	5	2	2			5
DX人材育成基盤プログラム	4	1	1			7
電気エネルギー・電子工学プログラム	9	2				2
機械工学プログラム	8	2				5
知能機械システムプログラム	4	1	1			1
生命・物質化学プログラム	8	4				
地域環境科学プログラム						2
建築学プログラム				3	2	4
合計	38	12	4	3	2	26

※学校推薦型選抜（一般推薦）と学校推薦型選抜（女子枠）との併願は可とします。

【福祉健康科学部】

- 一般選抜前期日程及び学校推薦型選抜における社会福祉実践コースの募集人員を以下のとおり変更します。

【変更前】

一般選抜前期日程：23名

学校推薦型選抜：8名（普通枠7名・福祉枠1名）



【変更後：令和7年度入学者選抜以降】

一般選抜前期日程：19名

学校推薦型選抜：12名（普通枠11名・福祉枠1名）

- 学校推薦型選抜における社会福祉実践コースの選抜方法を以下のとおり変更します。

【変更前】

小論文：100点 個人面接：100点 合計200点



【変更後：令和7年度入学者選抜以降】

小論文：150点 個人面接：100点 合計250点

- 学校推薦型選抜における社会福祉実践コースの推薦人員を以下のとおり変更します。

【変更前】

各高等学校等から2名以内



【変更後：令和7年度入学者選抜以降】

制限なし

目 次

ページ

大分大学 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）	3
1. 学校推薦型選抜募集人員	26
2. 学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）	27
① 推薦要件	27
② 試験日等	30
③ 配点	31
④ 選抜方法、面接、採点・評価等	31
3. 学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）	35
＜教育学部＞	
① 推薦要件	36
② 試験日及び大学入学共通テスト指定教科・科目等	36
③ 配点	39
④ 選抜方法、面接、採点・評価等	40
⑤ 同点者の取扱い	40
＜理工学部＞	
① 推薦要件	40
② 試験日及び大学入学共通テスト指定教科・科目等	40
③ 配点	42
④ 選抜方法、面接、採点・評価等	42
⑤ 同点者の取扱い	42
⑥ 女子枠及び一般推薦の可否判定について	42
4. 出願期間及び出願手続	43
5. 受験票（受験番号確定メールの送信・受験票の印刷）	45
6. 個人情報の取扱い	45
7. 障がいのある者等の事前相談	46
8. 災害で被災した者等の入学検定料等の免除及び 修学上の特別な配慮について	46
9. 受験に際しての注意事項	46
10. 試験場	47
○ 大分大学位置図	47
○ 旦野原キャンパス	48
○ 挾間キャンパス	48
11. 不正行為の取扱い	49
12. 合格者発表	49
13. 入学手続等	50
14. 一般選抜への出願	50
15. 入学試験個人成績の開示	51
16. 高大接続学習	52
17. その他	52
18. 受験の際の宿泊	52
19. 大分大学学生寮のご案内（予告）	53
令和8年度大分大学入学者選抜方法の変更について（予告）	54

問合せ先	問合せ内容
<p>志願受付操作サポート窓口 TEL : 0120-752-257 (出願登録期間の 9:00~20:00)</p>	<p>インターネット出願システムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・操作方法 ・入学検定料支払い方法 ・証明写真データアップロード方法 等
<p>大分大学学生支援部入試課 TEL : 097-554-7471 (平日の 9:00~17:00) E-mail:nyukikak@oita-u.ac.jp</p>	<p>入試全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出願資格 ・入試科目 ・出願書類 ・入学検定料免除 等

大分大学 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

基本理念

人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに、地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与することです。

教育の目標

1. 学生の立場にたった教育体制のもとで、広い視野と深い教養を備え、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を育成します。
2. ゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を修得し、創造性と応用力に富んだ人材を育成します。
3. 高い学習意欲をもち、たゆまぬ探究心と総合的な判断力を身につけ、広く世界で活躍できる人材を育成します。

求める学生像

1. 幅広く、より深く学ぶための基礎的能力をもっている人
2. 論理的に考え、文章や口頭で他者に伝えることができる人
3. 知識を組み合わせ活用したり、多面的な観点から物事を考えたりすることができる人
4. 思いやりの心をもち、他者と協力して行動することができる人
5. 地域社会や国際社会に貢献しようとする意欲をもっている人
6. 知的好奇心や主体的に学ぶ意欲をもって、目的に向かって努力できる人

大分大学教育学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

基本理念

地域の学校教育の発展のため、教育に関する専門的な知識・技能を学校現場の中で創造的・総合的に活用し、新たな学びや地域の教育課題に適切に対応できる実践的指導力を備えた小学校教員、特別支援学校教員の養成を行うことです。

教育の目標

各教科等の指導内容と指導方法についての確かな専門的知識の上に、新しい時代を担うための子どもたちの学ぶ力を育む実践的指導力を持ち、隣接する校種を見通しながら教育現場で生起する諸課題に適切に対応できる小学校教員、特別支援学校教員の養成を行います。

求める学生像

1. 基礎学力を有し、小学校教員、特別支援学校教員、及び隣接校種である中学校教員、幼稚園教員として子どもたちの教育や支援に取り組む意欲と情熱がある人
2. 学校教育に深い関心があり、大分県を中心とした地域社会への貢献ができる人
3. 物事を多面的に分析し、自ら課題を見つけ、他者と協働して課題解決ができる人
4. 子どもや他者とのコミュニケーションが積極的にでき、相互理解を深めようとする人

入学者選抜の基本方針

教育学部では、多様な観点から受験者の学力や資質をみるため、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜及び総合型選抜を実施し、「求める学生像」にそって学生を選考します。

・一般選抜（前期日程）

総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個別学力検査を課しています。大学入学共通テストは6～7教科8科目とし、個別学力検査では教科の試験とグループディスカッションを課しています。

・一般選抜（後期日程）

総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個別学力検査を課しています。大学入学共通テストは6～7教科8科目とし、個別学力検査では小論文とグループディスカッションを課しています。

・学校推薦型選抜（初等中等教育コース）

総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個人面接及びグループディスカッションを課しています。大学入学共通テストは6～7教科8科目とし、個人面接及びグループディスカッションでは提出書類と合わせて総合的に判断して選考します。

・学校推薦型選抜（特別支援教育コース）

特別支援教育の担い手に必要な資質・能力をみるため、小論文、個人面接及びグループディスカッションを課しています（大学入学共通テストは課していません）。小論文、個人面接及びグループディスカッションでは提出書類と合わせて総合的に判断して選考します。

・総合型選抜

総合的な学力及び教科の能力をみるため、大学入学共通テストと個人面接及び教科（音楽、美術、保健体育、技術、家庭）の試験を課しています。大学入学共通テストは所定の5つの区分から任意の3つを選択し、個人面接及び教科の試験では提出書類と合わせて総合的に判断して選考します。

各選抜試験で重視する力や観点

入試区分	検査項目	学力の3要素			求める学生像		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	教育や支援に取り組む意欲と情熱	学校教育への深い関心	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	○	○			
		教科の試験	○	○			
		グループディスカッション (調査書)		○	○	○	○
	後期日程	大学入学共通テスト	○	○			
		小論文		○			○
		グループディスカッション (調査書)		○	○	○	○
学校推薦型選抜 (初等中等教育コース)	大学入学共通テスト	○	○				
	個人面接 グループディスカッション (調査書) (志望理由書) (推薦書)		○	○	○	○	
学校推薦型選抜 (特別支援教育コース)	小論文	○	○				
	個人面接 グループディスカッション (調査書) (志望理由書) (推薦書)	○	○	○	○	○	
総合型選抜	大学入学共通テスト	○	○				
	教科の試験	○	○		○		
	個人面接 (調査書) (自己推薦書) (活動報告書)		○	○	○	○	

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

本学部の教育は、高等学校等において学習する教科・科目を十分に理解し、修得していることを前提として行われます。このような点から、一般選抜及び学校推薦型選抜（初等中等教育コース）において課している大学入学共通テストの教科・科目についてはその基礎を十分に理解し、修得するとともに、応用的な力を養っておくことが必要です。総合型選抜においては、これらの教科・科目の試験すべてを課しているわけではありませんが、そこで受験しなかった教科・科目も大学入学までに十分に理解し、修得していることが望まれます。学校推薦型選抜（特別支援教育コース）においては、高等学校等において学習する教科・科目の試験を課していませんが、これらの教科・科目を大学入学までに十分理解し、修得していることが望まれます。

また、教科・科目の知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力等の学力や、「求める学生像」に示した資質を高めておくことが望まれます。

国語：他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。
 なお、修得しておくべき科目は現代の国語、言語文化の他、国語の論理性や文学性、表現性に関する科目、古典に関する科目です。

地理歴史、公民：地理歴史科及び公民科における各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を修得

するとともに、地理、歴史及び現代社会に対する見方・考え方を身につけておくことが必要です。また、現代社会や世界には多様な価値観や考え方があることを理解するとともに、身近な地域や社会、世界で起こっている出来事や社会的事象に対して普段から興味や関心を持つことが望まれます。

数 学：数学の基本的概念や原理・法則を理解するとともに、基礎的な計算技能を修得する必要があります。単に公式を暗記して問題に当てはめるのではなく、よりよい解法を求めて、既習の知識・技能を活用する姿を期待します。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理する能力を磨くことが必要です。なお、修得しておくべき科目は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bです。

理 科：理科の各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を修得するとともに、科学的に思考する能力を身につける必要があります。また、科学的な法則を単に知識として暗記するのではなく、どのような過程で導き出されたか探究的に学ぼうとする姿勢が大切です。なお、修得しておくべき科目は、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎の中から3科目以上です。

外国語（英語）：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれていることが必要です。特に情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする力を養い、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力を持つことが望まれます。なお、修得しておくべき科目は英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲです。

情 報：情報と情報技術に関する基礎的な知識や技能、活用方法を身につけていることが必要です。また、情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を修得するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を持っていることが求められます。

大分大学経済学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

教育理念・目標

1. 本学部は、経済学、経営学を中心にしながら社会科学の諸分野を広く、かつ基礎から応用・実践に至るまで体系的に学修することを通じて、サステナブルな経済社会の動向を的確に把握し、社会の中核を支える人材を養成することをめざしています。
2. こうした人たちが、高度化・複雑化するとともに持続的な発展が求められる社会に対応しながら、各方面で真価を発揮するためには、社会科学諸分野の総合的な学修を通じた基礎的能力が不可欠です。こうした能力を身につけることは、社会や経済の変化に対する適応力を高めるとともに、創造性を発揮するうえでの基盤になると考えています。また、実社会で活躍するうえで求められる実践力を身につけるためにも基礎的な能力が重要です。そこで、学生の総合的基礎力を高めることを本学部の教育目的とします。
3. この目的を達成するために経済学、経営学を中心とした体系的なカリキュラムを編成するとともに、課題探究、双方向教育技法に基づいたきめ細かな指導によって、論理力、表現力、開かれたコミュニケーション能力や共生する力を有する人材を養成します。同時に、国際化、情報化などに対応できる能力も育成します。

求める学生像

1. 経済学、経営学を中心とした社会科学への関心や基礎学力を有する人
2. 自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ人
3. 現在の自分について自己表現ができるとともに、多様な考えを理解し、他者と協働しながら課題解決に向けて努力ができる人
4. 責任感と倫理観を備え、国際化・情報化のなかで、地域・国際社会の持続的発展に貢献しようとする意欲をもつ人
5. 知的好奇心を持ち続けることができ、バイタリティーあふれる人

卒業後の進路

- ・金融界で活躍することをめざす人（たとえば銀行、保険会社、証券会社の仕事などをめざす人）
- ・産業界で活躍することをめざす人（たとえばメーカー、商社、サービス業の仕事などをめざす人）
- ・公務に携わることをめざす人（たとえば、国税専門官、労働基準監督官、裁判所・法務局・労働局・厚生局・税関職員などの仕事をめざす人）
- ・会計や税務、法務に携わることをめざす人（たとえば公認会計士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、司法書士などをめざす人）
- ・教育や研究に携わることをめざす人（たとえば高校教員、シンクタンク研究員、また大学院進学をめざす人）
- ・国際社会で活躍することをめざす人（たとえば外国企業で働くこと、企業・公務・ボランティアで海外勤務すること、また地域社会・企業でインバウンドなど国際交流に携わって働くことをめざす人）
- ・地域社会で活躍することをめざす人（たとえば県庁・市町村役場・警察やマスコミ、病院、福祉施設、ボランティア組織などで働くことをめざす人）
- ・事業創造（起業）に携わることをめざす人（たとえば、ベンチャービジネス、地場産品を扱う6次産業、NPO・NGOなどを立ち上げたり、起業を支援する公務・事業コンサルタントなどで働くことをめざす人）

各コースの求める学生像

【経済分析・政策コース】

- ・ 公的な政策に対して有権者や企業などがどう反応するかという問題に関心のある学生
- ・ 公的部門や金融機関などで政策立案に携わりたい学生

【IBP (International Business Perspectives) コース】

- ・ 国際交流に興味があり、国際業務での活躍を志望する学生
- ・ 地球規模の課題を身近な課題として考え、世界の多様性に関心がある学生

【会計コース】

- ・ 企業経営に関心があり、財務諸表の作成・分析をしたい学生
- ・ 簿記・会計的な視点から、企業経営上の課題を見つけ出し、多様な分野の学修を通じて、課題解決に向けて取り組む意欲のある学生

【社会イノベーションコース】

- ・ 身近な課題を社会的なものとしてとらえ直すことに関心がある学生
- ・ そうした課題に対して、多様な形での関わり方を柔軟に提案したい学生

【生活・仕事創造コース】

- ・ 持続可能性に課題のある地域について、人、自然、文化、産業、歴史などの地域資源をつないで活用することに関心がある学生
- ・ そうした地域に入り、生活環境に密着した問題を発見し、解決を提案したい学生

【地域経営・法コース】

- ・ 地域の活性化や地域住民の安定的な暮らしの保障に関心をもち、地域経営と法律の双方の学修を志す学生

入学者選抜の基本方針

経済学部では、一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜（普通推薦、商業推薦）、総合型選抜、社会人選抜などを実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れます。

・ 一般選抜（前期日程）

高等学校等において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入学共通テストは6～7教科8科目とし、個別学力検査では数学と英語から1教科を課します。特色加点では、高等学校入学以降の様々な主体的・協働的な活動について、「自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲」を評価します。

・ 一般選抜（後期日程）

高等学校等において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入学共通テストは5～6教科6科目とし、個別学力検査では小論文を課しています。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。これらに加えて、高等学校入学以降の様々な主体的・協働的な活動について、「自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲」を評価します。

・ 学校推薦型選抜（普通推薦、商業推薦）

大学入学共通テストと個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。面接はグループによるディスカッション方式で行い、積極性や理解力、自己表現能力を評価します。

- ・総合型選抜

[英語資格・簿記資格に基づく選抜制度]

英語または簿記の能力が高く、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲をもつ学生を選抜するため、大学入学共通テストと個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は2段階選抜で、第1次選考は自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物による書類選考とします。第2次選考は小論文及び個人面接とします。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。英語資格の個人面接では、提出書類も参考にして、取得資格に関する能力、積極性、自己表現能力を評価します。簿記資格の個人面接では、提出書類も参考にして、資格取得を通して身につけた能力を大学の学びにどのように結びつけたいかなどの積極性・学習意欲・自己表現能力を評価します。

[課題探究型学習に基づく選抜制度]

高等学校等での学習課程の中で課題探究に取り組みながらその成果を残し、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲をもつ学生を選抜するため、大学入学共通テストと個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は2段階選抜で、第1次選考は自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物による書類選考とします。第2次選考は小論文及び個人面接とします。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。個人面接では、提出書類も参考にして、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力および主体的に学習に取り組む態度を評価します。

- ・帰国生徒選抜

大学入学共通テストと個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）を評価します。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力を評価します。

- ・社会人選抜

大学入学共通テストと個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力を評価します。

- ・私費外国人留学生選抜

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学または英語から1教科選択）、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）を評価します。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力を評価します。

- ・第3年次編入学試験

英語、小論文、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。

各選抜試験で重視する力や観点

入試区分	入試科目	学力の3要素（確かな学力）			求める学生像		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	経済社会への関心や基礎学力を有する	自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○	
		教科の試験	○	○		○	
		特色加点			☆		☆
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○	
		小論文	○	○	○	○	○
学校推薦型選抜	小論文	○	○		○		
	面接（グループ・ディスカッション）	○	○	◎	○	○	
	調査書	○		○	○		
	志望理由書		○	○	○	○	
	推薦書	○		○	○	○	
総合型選抜	小論文	○	○		○		
	面接	◎	○	◎	○	◎	
	調査書	○		○	○		
	志望理由書		○	○	○	○	
その他	帰国生徒選抜	小論文	○	○		○	
		面接			◎	○	○
		調査書	○		○	○	
	社会人選抜	小論文	○	○		○	
		面接			◎	○	○
		調査書	○		○	○	
	私費外国人留学生選抜	教科の試験	◎			○	
		小論文	○	○		○	
		面接			◎	○	◎
		調査書	○		○	○	
	第3年次編入学試験	教科の試験	◎				
		小論文	○	○		○	
調査書		○		○	○		

◎は、特に重視する

☆は、加点評価

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

経済学部の教育は、高等学校等において学習する教科・科目を十分に理解していることを前提として行われます。学生の基礎的能力を高めることが本学部の目標ですので、大学入学までに以下に掲げる能力等を身につけるようにしてください。

国語：資料や文章の読解力や大意把握力、自分の考えを説明するための論理的思考力と表現力が必要です。

地理歴史、公民：基礎的な知識と政治、経済、社会の動きに対する知的好奇心と探究心が必要です。

数学：基本的概念や原理・法則を理解することに加え、論理的な思考力と応用力（商業推薦の受験者にあっても、簿記に関する同様の思考力と応用力）が必要です。

理科：基礎的な知識と自然や科学に対する知的好奇心と探究心が必要です。

外国語（英語）：資料や文章の読解力と意思疎通のためのコミュニケーション能力、ならびに多様な言語文化に対する関心が必要です。

情報：情報を科学的に理解することに加え、情報の主体的な活用への関心が必要です。

大分大学医学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

基本理念

医、看護及び先進的医療に関する最新の学術を教育・研究し、高度の医学、看護学及び医療科学の知識並びに技術と技能、そしてこれらを支える高い倫理観と豊かな教養・人間性を備えた医師或いは看護師・保健師、医療従事者等、更には医学、看護学研究者、大学・企業研究者等を養成し、これら学問の進歩、国民の健康の維持増進、医療・保健を中心に地域や国際社会の福祉に寄与することが基本理念です。

教育の目標

〈医学科〉

患者の立場を理解した全人的医療を行い、豊かな教養と人間性、高度の学識、問題解決能力、生涯学習能力及び国際的視野を備えた医師や研究者を養成します。

〈看護学科〉

人々が心身共に健康な生活を営めるよう、適切な看護を行うことができる専門的知識と技術の修得を促し、看護学の発展と地域住民の保健・医療・福祉の向上、ひいては国際社会への貢献ができる、豊かな人間性を備えた人材を養成します。

〈先進医療科学科〉

領域・業種の垣根を超えた情報交換と交流の橋渡しができる能力を有し、大学・企業研究者、医療従事者、起業家、医療事業経営マネジメントを行える人材となり、進化した医工連携、深化した医学生命科学連携の将来の担い手として活躍できる人材を養成します。

求める学生像

〈医学科〉

- 1 医師として人の健康と福祉及び科学の進歩に貢献したいという確固たる決意を持っている人
- 2 患者の痛みを分かち合い、患者に対する思いやりに満ちた温かい心を正しく体得しようとする志を持っている人
- 3 日進月歩の医学・医療に対応する知識と技術を修得するため、たゆまぬ努力と地道な研鑽を重ねることができる持続力と忍耐力を持ち合わせている人
- 4 他者の意見を良く聞き、協調して物ごとを進めることができる社会性とコミュニケーション能力を備えている人
(一般選抜地元出身者枠、総合型選抜地域枠)
- 5 大分県の地域医療に貢献したいという強い意志と、地域医療に対する適応力を持っている人

〈看護学科〉

- 1 看護を通して社会に貢献しようとする意志と、他者の喜び、苦しみを分かち合える温かい心を持っている人
- 2 日進月歩の医療及び激動する社会の変化に対応しうる知識と技術の修得のため、たゆまぬ努力と自己研鑽（生涯学習）を重ねる人
- 3 国の内外を問わず、社会に起こっている問題に関心を持ち、それに対して自分の考えが述べられるような教養を備えている人
- 4 何ごとにも積極性を持ち、多くの人と交流ができる社会性を備えている人

〈先進医療科学科〉

- 1 医療に携わる様々な領域で研究者、科学者、起業家などとして地域社会の発展と人類の健康・福祉及び科学の進歩に貢献したいという確固たる決意を持っている人
- 2 好奇心旺盛で、様々な分野に興味があり、多様性のある活動ができる人

- 3 他者に対する思いやりに満ちた温かい心を正しく体得しようとする志を持っている人
- 4 日進月歩の医学・医療に対応する知識と技術を修得するため、自らたゆまぬ努力と地道な研鑽を重ねることができる自主性、持続力と忍耐力を持っている人
- 5 他者の意見を良く聞き、協調して物ごとを進めることができる社会性とコミュニケーション能力を持っている人

入学者選抜の基本方針

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、医学科では一般選抜と総合型選抜を、看護学科では一般選抜と学校推薦型選抜を、先進医療科学科では一般選抜を実施し、それぞれの選抜の趣旨に従って、多様な観点から受験者の学力や資質を評価しています。また、医学科では医学以外の大学在学者・卒業者を対象に第2年次編入学試験を、看護学科では社会人を対象とした入試や、看護系短期大学・専修学校の卒業者等を対象とした第3年次編入学試験を実施しています。

各選抜試験で重視する観点<医学科>

入試区分	検査項目	学力の3要素			求める学生像				
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	医師になる確固たる決意を有する	思いやりに満ちた温かい心を有する	努力する持続力と忍耐力を有する	協調性・社会性を有する	大分県の地域医療に貢献する強い意志と地域医療への適応力を有する
一般選抜	前期日程								
	大学入学共通テスト	○	○						
	個別学力検査(筆記)	○	○						
総合型選抜	個別学力検査(個人面接)		○	○	○	○	○		○ (地元出身者枠)
	大学入学共通テスト	○	○						
	個別学力検査(個人面接)		○	○	○	○	○		○ (地域枠)
	個別学力検査(グループディスカッション)		○	○				○	○ (地域枠)

各選抜試験で重視する観点<看護学科>

入試区分	検査項目	学力の3要素			求める学生像			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	強い意志と温かい心を有する	努力と自己研鑽を重ねる	問題意識を持ち教養を備えている	社会性を有する
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	○	○				
		個別学力検査(小論文)	○	○				
		個別学力検査(個人面接)		○	○	○	○	○
	後期日程	大学入学共通テスト	○	○				
		個別学力検査(個人面接)		○	○	○	○	○
学校推薦型選抜	個別学力検査(小論文)	○	○					
	個別学力検査(個人面接)		○	○	○	○	○	○
	個別学力検査(グループディスカッション)		○	○			○	○

各選抜試験で重視する観点<先進医療科学科>

入試区分	検査項目	学力の3要素			求める学生像			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	地域発展・人類福祉への貢献の意思を有する	思いやりに満ちた温かい心を有する	努力する持続力と忍耐力を有する	協調性・社会性を有する
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	○	○				
		個別学力検査(筆記)	○	○				
		個別学力検査(個人面接)		○	○	○	○	○
	後期日程	大学入学共通テスト	○	○				
		個別学力検査(小論文)	○	○				
		個別学力検査(個人面接)		○	○	○	○	○

・一般選抜

《医学科前期日程》

一般選抜では、高等学校等での教科面における学習の達成度をみるため、大学入学共通テストは6教科8科目を課しています。個別学力検査では、前期日程において、理科（物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から2科目選択）、数学、英語の3教科の学力を測るとともに、面接によりコミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等、受験者の素養を評価します。その際、高等学校等の調査書を参考資料とします。

《看護学科前期日程・後期日程》

一般選抜では、高等学校での教科面における学習の達成度を評価するため、大学入学共通テストについては6教科7科目を課します。また、個別学力検査については、前期日程では、小論文と面接を、後期日程では面接を課します。小論文では、論理的思考力・表現力・読解力・看護学を学ぶための適性等を評価します。面接では、コミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。その際、高等学校等の調査書及び志願調書を参考資料とします。

《先進医療科学科前期日程・後期日程》

一般選抜では、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、大学入学共通テストについては6教科8科目を課します。また、個別学力検査については、前期日程では、「数学」、「理科」（物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から1科目選択）、「英語」により、医学・医療を学ぶための基礎学力に加え、自然科学や多様な情報に対する深い思考力、判断力、表現力を評価するとともに、「面接」により課題を解決しようとする意欲や社会への関心とコミュニケーション能力を評価します。その際、高等学校等の調査書を参考資料とします。後期日程では、「小論文」により、医学・医療に関する深い思考力、判断力、表現力を評価するとともに、「面接」により課題を解決しようとする意欲や社会への関心とコミュニケーション能力を評価します。その際、高等学校等の調査書を参考資料とします。

・総合型選抜

《医学科》

総合型選抜は、自己推薦による入試であり、本学部アドミッション・ポリシーに掲げた求める学生像について、学力のみで選抜するものとは異なり、丁寧な面接により適性等を評価し選抜します。一般選抜と同じく大学入学共通テストは、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、6教科8科目を課しています。面接では、個人面接とグループディスカッションを行い、医学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・リーダーシップ・協調性・独創性等を評価します。また、自己推薦書、調査書及び特別活動に関する調査書から、志願者がどのような高校生活を送ってきたかを、課外活動やボランティア活動、資格等を中心に評価します。

・学校推薦型選抜

《看護学科》

学校推薦型選抜では、大学入学共通テストを免除し、小論文と面接を課しています。小論文では、理解力・統合力・思考力・表現力・独創性・論理性等を評価します。面接では、個人面接とグループディスカッションを行い、看護学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・自己理解力・リーダーシップ・協調性等を評価します。その際、調査書、推薦書及び自己推薦書を参考資料とします。

・社会人選抜

《看護学科》

社会人選抜では、社会人としての経験を看護の分野に生かしてゆくことのできる有能な人材を受け入れるため、大学入学共通テストを免除し、小論文と面接を課しています。小論文では、理解力・統合力・思考力・表現力・独創性・論理性等を評価します。面接では、個人面接とグループディスカッションを行い、看護学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・自己理解力・リーダーシップ・協調性等を評価します。

・第2年次編入学試験

《医学科》

第2年次編入学試験では、多様な専門能力、明確な問題意識や高い問題解決能力を有する人材並びに地域医療の場で活躍できる人材を受け入れるため、次のような3段階による選抜方法を実施しています。第1次選抜では小論文を含む書類審査を、第2次選抜では生命科学に関する総合問題と英語の学力審査を、第3次選抜では個人面接と課題発表形式を取り入れたグループディスカッションを行います。

・第3年次編入学試験

《看護学科》

短期大学の看護系学科及び看護系専修学校の卒業者等に、看護に対する専門能力及び指導能力をより高める機会を提供することを目的として、3年次への編入学を実施し、英語と総合問題と面接を課しています。総合問題では、専門基礎科目並びに専門科目に関する基礎知識・問題解決能力・統合能力を測り、面接では、コミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

医学・医療を学ぶには、十分な基礎学力に加えて幅広い教養と他者への共感性、倫理性、社会的常識を備えていることが不可欠です。医学部の教育は、高等学校教育全科にわたって以下に掲げる基礎的な知識、技能、思考力、体力等をバランスよく身につけていることを前提として行なわれます。合格時に不足している項目については、入学までに確実に修得することが必要です。

・一般選抜、学校推薦型選抜

〈医学科前期日程〉

国語：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力を磨くことが必要です。

地理歴史、公民：各科目の基礎的知識、社会的常識と思考力を身につけていることが必要です。

数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cの知識、応用力と数理的思考力を身につけていることが必要です。

理科：物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の知識と理学的思考力を身につけていることが必要です。

外国語（英語）：国際的視野に立つ思考力、外国語文献を読解し、外国語で発表する基礎的語学力を身につけていることが必要です。

情報：問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけていることが必要です。

保健体育：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要です。

〈看護学科前期日程・後期日程・学校推薦型選抜〉

国語：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力を磨くことが必要です。

地理歴史、公民：社会科学的な基礎知識と思考力を身につけていることが必要です。

数学：数学Ⅰ及び数学Ⅱの基礎的知識、応用力と数理的思考力を身につけていることが必要です。

理科：物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の知識と理学的思考力を身につけていることが必要です。

外国語（英語）：国際的視野に立つ思考力、会話力を身につけていることが必要です。

情報：問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけていることが必要です。

保健体育：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要です。

〈先進医療科学科前期日程・後期日程〉

- 国語**：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力を磨くことが必要です。
- 地理歴史、公民**：各科目の基礎的知識、社会的常識と思考力を身につけていることが必要です。
- 数学**：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cの知識、応用力と数理的思考力を身につけていることが必要です。
- 理科**：物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の知識と理学的思考力を身につけていることが必要です。
- 外国語（英語）**：国際的視野に立つ思考力、外国語文献を読解し、外国語で発表する基礎的語学力を身につけていることが必要です。
- 情報**：問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけていることが必要です。
- 保健体育**：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要です。

・総合型選抜

〈医学科〉

- 国語**：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力を磨くことが必要です。
- 地理歴史、公民**：各科目の基礎的知識、社会的常識と思考力を身につけていることが必要です。
- 数学**：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cの知識、応用力と数理的思考力を身につけていることが必要です。
- 理科**：物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の知識と理学的思考力を身につけていることが必要です。
- 外国語（英語）**：国際的視野に立つ思考力、外国語文献を読解し、外国語で発表する基礎的語学力を身につけていることが必要です。
- 情報**：問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけていることが必要です。
- 保健体育**：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要です。

大分大学理工学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

基本理念

質の高い特色ある研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献すると共に、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を養成することです。

教育の目標

自ら課題を探究する高い学習意欲と柔軟な思考力、国際基準を満たす専門知識を備え、総合的な視点から分野を超えて連携できる、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を養成します。

求める学生像

- ・理学及び工学分野の基礎をなす数学や理科等の基礎学力を備え、理学及び工学分野に加えより広範囲な事象に対して知的好奇心をもっている人
- ・基礎的な表現力・コミュニケーション力を備え、自立的に考えながらも他人と協力・共同して物事を実行していく意志と姿勢をもっている人
- ・社会における責任感と倫理観を備え、人類の福祉や地域社会のために理学・工学の視点から課題解決に貢献したいという意志をもっている人
- ・自らの考えで行動する主体性を備え、社会の変化に対応する柔軟性に資する知識・技能を学修する意志をもっている人

加えて、主に基礎学力を重視する一般選抜では、各プログラムカリキュラムを修得するのに必要となる高校段階の理科分野のうち、プログラムの指定する科目について十分に習熟している人を求めています。

また、志願分野への志望や興味を重視する総合型選抜、学校推薦型選抜、特別選抜（帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜）では、プログラムごとに次のような人を求めています。

<数理科学プログラム>

- ・数学に興味があり、科学技術を発展させるための様々な課題に対して、数学の立場からその解決方法を見出し、それに取り組む過程に魅力を感じる人

<知能情報システムプログラム>

- ・情報科学の基礎から知能工学の応用までの幅広い学習と研究に取り組み、高度情報化社会において、新たな課題を自ら見つけだし、学んだことを生かして解決することを通じて、地域社会や世界に貢献したいという高い志をもっている人

<DX人材育成基盤プログラム>

- ・情報科学の基礎から知能工学の応用までの幅広い学習と研究に取り組み、高度情報化社会において、新たな課題を自ら見つけだし、学んだことを生かして解決することを通じて、新しい付加価値の創造を主導でき、地域社会や世界に貢献したいという高い志をもっている人

<物理学連携プログラム>

- ・物理学に関連する分野で地域社会や国際社会に貢献したいという意志をもっている人

<電気エネルギー・電子工学プログラム>

- ・現代社会を支える電気電子工学分野に関心があり、この分野を主体的に学んで社会で活躍したいという意欲のある人

<機械工学プログラム>

- ・ものづくりに興味があり、そのために必要な機械工学に関する専門知識を身につけ社会に貢献したいという意志をもっている人

<知能機械システムプログラム>

- ・メカトロニクスシステム（機械／電気系）と生体系、及びそれらの複合系に関する専門知識を身につけ多様化する社会の発展に貢献したいという意志をもっている人

<生命・物質化学プログラム>

- ・科学、工学の分野に関心があり、特に化学に関する幅広い専門知識・技術を身につけ社会に貢献したいという意志をもっている人

<地域環境科学プログラム>

- ・環境・自然科学・土木に関連する分野で、時々刻々と変化する地域的・社会的課題を的確にとらえ、安全・安心で持続可能な地域環境を実現するための取り組みを通じ、地域社会や国際社会に貢献したいという意志をもっている人

<建築学プログラム>

- ・自然科学や工学のみならず社会科学、環境科学並びに芸術の分野に関心があり、高度化・多様化・国際化している建築の知識や技術の修得をもって、安全・安心かつ持続可能な社会実現や魅力ある環境・空間の創生に貢献したいという意志をもっている人

入学者選抜の基本方針

本学部では、一般選抜（前期日程・後期日程）のほか、学校推薦型選抜（一般推薦、サイエンス推薦）、総合型選抜、特別選抜（帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜）などを実施し、アドミッション・ポリシーにそってより多くの観点から受験者の学力や資質を評価し、学生を選考します。

・一般選抜（前期日程）

基礎学力に加えて知的好奇心や資質を評価するため、大学入学共通テスト（6教科8科目）、個別学力検査（数学・理科）及び特色加点により選抜します。大学入学共通テストでは、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の（暗記だけではない）活用力を評価します。個別学力検査では、問題を解決するために適切な知識や技能を選択し、活用する能力、自らの考えを適切に表現する能力を評価します。特色加点では、理学及び工学に関する関心・意欲、協調性・積極性・主体性などを評価します。

・一般選抜（後期日程）

基礎学力に加えて知的好奇心や資質を評価するため、大学入学共通テスト（6教科8科目）及び個別学力検査（面接）により選抜します。大学入学共通テストでは、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の（暗記だけではない）活用力を評価します。個別学力検査は、集団面接又は個人面接で行い、理工学分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力を評価します。また、数学と理科に関する学力及び科学的思考能力を評価する試問を含むことがあります。なお、後期日程では数理科学プログラム、物理学連携プログラム、地域環境科学プログラムへの仮配属はありません。

・学校推薦型選抜Ⅰ（一般推薦）（女子枠）

知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム及び生命・物質化学プログラムにおいて、志望分野への興味と社会への貢献の意志を評価するため、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、調査書、推薦書、基礎能力試験及び面接により総合的に評価し、選抜します。志望理由書は参考資料として用います。基礎能力試験では、基礎学力を含む科学的思考力、論理的思考力及び課題解決能力を評価します。面接は集団面接で行い、基礎学力に関する試問も含み、志望理由書も参考にして科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。

・学校推薦型選抜Ⅰ（サイエンス推薦）

知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム及び知能機械システムプログラムにおいて、志望分野への興味と社会への貢献の意志及び実績を評価するため、高等学校等において、科学に関する特別活動（例：SSHプログラム、科学クラブ等）に取り組んだ経験のある者を対象として、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、調査書、推薦書、プレゼンテーション及び面接により総合的に評価し、選抜します。また、科学に関する特別活動の実績を示す資料も提出してもらい、志望理由書とともに参考資料として用います。プレゼンテーションでは、科学に関する特別活動の内容に関する発表と質疑応答を行います。面接は個人面接で行い、基礎学力に関する試問を含めて、科学に関する特別活動の実績を示す資料及び志望理由書も参考にして科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。

・学校推薦型選抜Ⅱ（一般推薦）（女子枠）

建築学プログラムにおいて、幅広い分野への興味と社会への貢献の意志を評価するため、大学入学共通テスト（6教科8科目）、調査書、小論文及び面接により総合的に評価し、選抜します。大学入学共通テストでは、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の活用力を評価します。小論文では課題について意見を問い、論理的思考力、判断力、表現力などを評価します。面接は個人面接で行い、志望理由書等も参考にして科学的思考力、建築への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。

・総合型選抜

知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、地域環境科学プログラム及び建築学プログラムでは、志望分野への興味と社会への貢献の意志及び工業分野の学びの実績を評価するため、高等学校等の機械、電気、電子、情報、計算機、建築、土木、環境に関する学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者を対象として、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、調査書、自己推薦書、活動報告書及び面接により総合的に評価し、選抜します。面接は集団面接又は個人面接で行い、基礎学力に関する試問を含めて、科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。なお、知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム、地域環境科学プログラム及び建築学プログラムでは、高等学校等で学習する内容に関する学力及び科学的思考能力を判定する基礎的な筆記試験を課します。

・帰国生徒選抜

日本国籍又は日本の永住許可を有する方を対象に、海外での学びと多様な経験や実績を評価するため、大学入学共通テストを免除し、本学で実施する学力検査（数学、理科）、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、専門分野への関心・意欲・理解を評価するとともに、積極性、自己表現力を評価します。また、理解力・論理的思考力・表現力を評価するために基礎学力に関する試問を含むことがあります。

・私費外国人留学生選抜

日本国籍を有しない方を対象に、海外での学びと多様な経験や実績を評価するため、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学、理科）、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、日本語能力、専門分野への関心・意欲・理解を評価するとともに、積極性、自己表現力を評価します。また、理解力・論理的思考力・表現力を評価するために基礎学力に関する試問を含むことがあります。

・第3年次編入学

理工学に関連する高等教育機関での多様な学修実績を活かし本学部でさらなる学修を志望する方を対象に、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、簡単な筆記試験及び口頭試問により、基礎学力や専門分野の学力を評価するとともに、専門分野への意欲、積極性、論理的思考力、自己表現力についても評価します。

各選抜試験で重視する観点

入試区分		学力の3要素			求める資質・能力					
		知識・ 技能	思考力・ 判断力・ 表現力	主体性・ 協働性	数学・理 科の基 礎学力	知的好奇 心・志望 分野の課 題への興 味・意欲・ 関心・ね ばり強さ	自立的に 考え、かつ 他者と協 同して取 り組む姿 勢	リーダ シップと行 動力を発揮 する意志		
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○				
		個別学力検査（数・理）	○	◎		◎				
		特色加点			☆		☆	☆	☆	
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○				
		個別学力検査（面接（口頭試問を含む））	○	◎	○	○	◎	○	○	
学校推薦型選抜Ⅰ	一般推薦 女子枠	基礎能力試験	◎	○		○				
		面接（口頭試問を含む）	○	○	○	○	◎	○	○	
		調査書・推薦書	○				○	○	○	
	サイエンス推薦	プレゼンテーション		◎		○		◎		
		面接（口頭試問を含む）	○	○	○	○	◎	○	○	
		調査書・推薦書	○				○	○	○	
学校推薦型選抜Ⅱ	一般推薦 女子枠	大学入学共通テスト	◎	○		○				
		小論文	○	◎			○			
		面接	○	◎	○		◎	○	○	
		調査書	○				○	○	○	
総合型選抜		面接（筆記試験・小論文・口頭試問を含む）	○	○	○	○	◎	○	○	
		自己推薦書		○			○			
		活動報告書		○	○	○	○	◎	○	
		調査書	○				○	○	○	
その他	帰国生徒選抜	学力検査	◎	○		◎				
		面接	○	◎	○	○	○	○	○	
		提出書類	○	○		○	○	○	○	
	私費外国人留学生選抜	学力検査	◎	○		◎				
		面接	○	◎	○	○	○	○	○	
		提出書類	○	○		○	○	○	○	
	第3年次編入学試験		面接（筆記試験・口頭試問を含む）	○	○	○	○	◎	○	○
			提出書類	○	○	○	○	○	○	○

◎は、特に重視する

☆は、加点評価

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

理工学部教育においては、高等学校において学習する以下の教科・科目の内容を理解していることが望まれます。高等学校の教育課程や選抜区分等の違いもあるため、理解のレベルは個人によってそれぞれ異なると思います。不足していると思われる項目については、入学までに身につけるよう期待します。

国語：他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。修得しておくべき科目は、現代の国語、言語文化の他、国語の論理性や文学性、表現性に関する科目、古典に関する科目です。

地理歴史、公民：地理歴史、公民の各科目の学習を通じて、基礎的な知識を修得するとともに、地理・歴史及び現代社会に対する客観的な見方・考え方を身につけるとともに、政治・経済・社会の動きに対して常に興味や関心をもつことが必要です。

数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cについて、基礎的な計算技能を修得するとともに、基本的な定理を理解して活用できることが必要です。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理することに習熟していることが必要です。

理科：物理、化学、生物に関する基礎的な概念を理解するとともに、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方・考え方を身につけていることが必要です。電気エネルギー・電子工学プログラム、物理学連携プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラム志望者は、物理基礎及び物理の修得に加え、化学基礎及び化学、生物基礎及び生物、から1科目の修得が望まれます。数理科学プログラム、知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム、生命・物質化学プログラム、地域環境科学プログラム志望者は物理基礎及び物理、化学基礎及び化学、生物基礎及び生物、から2科目以上の修得が望まれます。

外国語（英語）：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれ、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力をもつことが必要です。修得しておくべき科目は、英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲです。

情報：情報科学・情報技術に関する基礎的な理解力を身につけ、科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う意欲を持ち、情報社会に主体的に参画するための資質・能力が必要です。

大分大学福祉健康科学部 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー:AP)

基本理念

福祉と医療、心理を融合した新しい教育研究を通じ、リハビリテーション学、社会福祉学、心理学の学問領域に立ち、それぞれの学問領域における高度な専門的知識と技能のみならず他領域における知識等を体系的に修得することを通じて、「地域包括ケア」のリーダーとして活躍できる人材養成を行うことにより、より成熟した福祉社会の実現に寄与することです。

教育の目標

資格取得をめざすのみではなく、「高度な専門性」と「社会人としての教養と態度」を備えた医療・福祉・心理の各分野における「実践専門職」として社会に貢献するとともに、包括的な支援を高度にマネジメントできるリーダーとして「地域包括ケア」の実現に寄与する人材を養成します。

求める学生像

本学部において、以下の人材を求めます。

- ・大学において、教養と専門的知識を修得するために必要な基礎学力とコミュニケーション能力を持つ人
 - ・福祉社会の実現に関心を持ち、自ら考え、実践・努力する人
 - ・様々な活動に主体的に取り組めるとともに、思いやりの心を持って行動できる人
 - ・地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップを持つ人
 - ・知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む人
- 〈理学療法コース〉
- ・リハビリテーションの専門知識や技能を生かして社会に貢献したいという意思を持つ人
- 〈社会福祉実践コース〉
- ・福祉の専門職として、地域に貢献し、社会に役立ちたいという意思を持つ人
- 〈心理学コース〉
- ・心理学の専門知識や技能を生かして社会で活躍し、貢献したいという意思を持つ人

入学者選抜の基本方針

本学部では、求める学生像のみならず、高等学校及び大学において育成すべき「生きる力」「確かな学力」の本質を踏まえつつ、アドミッション・ポリシーに基づき、受験者の多様な能力を多角的に評価する個別選抜を確立するために、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜（社会福祉実践コース）、総合型選抜（理学療法コース・心理学コース）を実施し、高等学校等で培われた学びの意欲や活動を多面的・総合的に評価し、選考します。

- ・一般選抜（前期日程、後期日程）

総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個別学力検査を課します。大学入学共通テストは6～7教科8科目とし、個別学力検査では、各コースの専門に応じたテーマを設定した小論文及び面接を全員に課します。小論文では論理的思考力、表現力（文章構成力を含む）を、面接ではコミュニケーション能力、協調性、積極性などを評価します。

・学校推薦型選抜

「社会福祉実践コース」のみ学校推薦型選抜を行います。特に、大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜においては、アドミッション・ポリシーに基づき多様な能力を多面的に評価する選抜として、小論文では総合問題等を導入し、論理的思考力、表現力を測り、面接ではコミュニケーション力やリーダーシップを測ることにより丁寧な選抜を行います。

・総合型選抜

「理学療法コース」及び「心理学コース」において総合型選抜を行います。総合型選抜では、大学入学共通テストは6～7教科8科目とし、コースの学修に必要な知識・技能を評価するとともに、小論文では論理的思考力、表現力を評価し、個別面接（理学療法コース及び心理学コース）やグループディスカッション（心理学コース）では主体性、協働力、意欲、積極性、コミュニケーション力やリーダーシップを評価します。

各選抜方法で重視する観点

入試区分及び入試科目			学力の3要素			本学部が求める力		
			知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 協働力	地域や現 代社会へ の関心	意欲 積極性	コミュニ ケーショ ン力・リー ダーシッ プ
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○				
		小論文	○	◎	○	◎	○	
		面接		○	◎	○	◎	◎
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○				
		小論文	○	◎	○	◎	○	
		面接		○	◎	○	◎	◎
学校推薦型 選抜	小論文	○	◎	○	◎	○		
	面接		○	◎	○	◎	◎	
総合型選抜	大学入学共通テスト	◎	○					
	小論文	○	◎	○	◎	○		
	個別面接		○	◎	○	◎	◎	
	グループディスカッション		○	◎	○	◎	◎	

◎は、特に重視する

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

本学部の教育は、高等学校において学習する教科・科目を十分に理解し、修得していることを前提として行われます。個別学力検査及び学校推薦型選抜においては、これら教科・科目の試験は課していませんが、大学入学までにこれらの教科・科目を履修し、修得していることが望まれます。

- 国語**：他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。
なお、修得しておくべき科目は現代の国語、言語文化です。
- 地理歴史・公民**：地理歴史科及び公民科における各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を修得するとともに、地理、歴史及び現代社会に対する見方・考え方を身につけておくことが必要です。また、現代社会や世界には多様な価値観や考え方があることを理解するとともに、身近な地域や社会、世界で起こっている出来事や社会的事象に対して普段から興味や関心を持つことが望まれます。
- 数学**：数学の基本的概念や原理・法則を理解するとともに、基礎的な計算技能を修得する必要があります。単に公式を暗記して問題に当てはめるのではなく、よりよい解法を求めて、既習の知識・技能を活用する姿を期待します。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理する能力を磨くことが必要です。
なお、修得しておくべき科目は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bです。
- 理科**：基礎的な概念について理解をし、科学的な自然観を持つことが必要です。さらに、知識の暗記だけでなく、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方や考え方を身につけていることも必要です。
- 外国語（英語）**：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれていることが必要です。特に情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする力を養い、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力を持つことが望まれます。
なお、修得しておくべき科目は英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲです。
- 情報**：情報社会における個人の役割や責任を理解するとともに、さまざまな事象を情報との結びつきから捉え、情報技術を活用しながら、問題の発見・解決に取り組むための基礎的な能力を修得する必要があります。
なお、修得しておくべき科目は情報Ⅰです。

1. 学校推薦型選抜募集人員

【学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）】

学部	学 科 ・ コ ー ス 等		推薦区分	募集人員	推 薦 人 員
教育学部	学校教育教員養成課程	特別支援教育コース		5	制限なし
	計			5	
経済学部	総合経済学科		普通推薦	45	各高等学校等から4名以内
			商業推薦	10	制限なし
	計			55	
医学部	看護学科			15	各高等学校等から3名以内
	計			15	
理工学部	理工学科	知能情報システムプログラム	一般推薦	5	各高等学校等から3名以内【注】
			女子枠	2	制限なし
			サイエンス推薦	2	制限なし
		DX人材育成基盤プログラム	一般推薦	4	制限なし
			女子枠	1	制限なし
			サイエンス推薦	1	制限なし
		電気エネルギー・電子工学プログラム	一般推薦	9	各高等学校等から4名以内【注】
			女子枠	2	制限なし
		機械工学プログラム	一般推薦	8	制限なし
	女子枠		2	制限なし	
	知能機械システムプログラム	一般推薦	4	制限なし	
		女子枠	1	制限なし	
		サイエンス推薦	1	制限なし	
	生命・物質化学プログラム	一般推薦	8	制限なし	
		女子枠	4	制限なし	
	計			54	
福祉健康科学部	福祉健康科学科	社会福祉実践コース	普通推薦	11	制限なし
			福祉推薦	1	制限なし
	計			12	
合 計				141	

【注】理工学部一般推薦における各高等学校等からの推薦人員には、女子枠志願者（一般推薦併願）を含みます。

【学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）】

学部	課 程 ・ 学 科 ・ コ ー ス 等		推薦区分	募集人員	推 薦 人 員
教育学部	学校教育教員養成課程	初等中等教育コース		35	制限なし
	計			35	
理工学部	理工学科	建築学プログラム	一般推薦	3	制限なし
			女子枠	2	制限なし
	計			5	
合 計				40	

2. 学校推薦型選抜 I（大学入学共通テストを課さない）

〈教育学部（特別支援教育コース）・経済学部・医学部（看護学科）・理工学部・福祉健康科学部〉

① 推薦要件

次の各号に該当する者で、高等学校長、中等教育学校長、特別支援学校長及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の長が責任をもって推薦できる者

- (1) 高等学校、中等教育学校、特別支援学校の高等部及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等（以下「高等学校等」という。）を令和7年（2025年）3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、令和6年（2024年）4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含む。）
- (2) **合格した場合は、入学することを確約できる者**
- (3) 次表に掲げる推薦要件を満たす者

学部	学 科 等		推薦区分	推 薦 要 件
教育学部	学校教育 教員養成課程	特別支援教育コース		(1) 人物的に優れ、かつ、特別支援教育に対する意欲と情熱を有し、教員としての適性がある者 (2) 学業成績が優秀であり、調査書の学習成績概評が A段階 に属する者
経済学部	総合経済学科		普通推薦	(1) 高等学校等の普通科又はその他の学科で本学が普通科に準じると認める学科・課程（いわゆる職業教育を主とする学科以外の学科）を卒業見込みの者 (2) 調査書の学習成績概評が A段階 に属する者 (3) 校内外を問わず自主的勉学ないし活動において特に優れた成果をあげている者 (4) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者
			商業推薦	(1) 高等学校等の商業に関する学科・課程又はその他の学科を卒業見込みの者。ただし、 商業に関する学科・課程以外 を卒業見込みの者については、 商業に関する教科・科目を20単位以上 修得した（見込みを含む。）者 (2) 高等学校等の3年次における成績が 上位10%以内 の者 (3) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者
医学部	看護学科			(1) 高等学校等における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評が A段階 に属する者 (2) 看護職者あるいは看護学研究者として活躍しようとする、はっきりした目的意識を持ち、他者への思いやりと共感、生涯学習への意志と体力を持った者

学部	学 科 等		推薦区分	推 薦 要 件
理 工 学 部	理 工 学 科	知能情報システムプログラム	一般推薦 女子枠	(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等において「物理」又は「化学」を履修している者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀な者 (4) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 (5)女子枠については、上記(1)～(4)に該当する女子
		D X人材育成基盤プログラム		(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等において「物理」又は「化学」を履修している者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀な者 (4) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 (5) 女子枠については、上記(1)～(4)に該当する女子
		電気エネルギー・電子工学プログラム		(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等において「物理」を履修している者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀な者、又は特に「物理」が優秀な者 (4) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 (5)女子枠については、上記(1)～(4)に該当する女子
		機械工学プログラム		(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等において「物理」を履修している者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評が A段階 に属する者 (4) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 (5)女子枠については、上記(1)～(4)に該当する女子
		知能機械システムプログラム		(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等において「物理」を履修している者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀な者 (4) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 (5)女子枠については、上記(1)～(4)に該当する女子
		生命・物質化学プログラム		(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等において「化学」又は「物理」を履修している者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀な者 (4) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 (5)女子枠については、上記(1)～(4)に該当する女子
		知能情報システムプログラム		サイエンス 推薦
		D X人材育成基盤プログラム		
		知能機械システムプログラム		

※推薦要件の授業科目「物理」「化学」には「物理基礎」「化学基礎」は該当しません。

学部	学 科 等		推薦区分	推 薦 要 件
福 祉 健 康 科 学 部	福祉健康科学科	社会福祉実践コース	普通推薦	(1) 本コースへの専攻の意志が強い者 (2) 調査書の学習成績概評が A段階 に属する者 (3) 人物的に優れ、かつ、福祉の専門職として、地域に貢献し、社会に役立ちたいという意志を有する者
			福祉推薦	(1) 本コースへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の 福祉に関する学科・課程又はその他の学科 を卒業見込みの者。ただし、次のいずれかに該当する者 ① 文部科学省が指定する「福祉系高等学校等」「特例高等学校等」において「 教科福祉 」に 含まれる科目を12単位以上 修得した（見込みを含む。）者 ② ①以外の高等学校等で福祉関係のコースや課程、系列において、 福祉に関する科目を12単位以上 修得した（見込みを含む。）者 (3) 調査書の学習成績概評が A段階 に属する者 (4) 人物的に優れ、かつ、福祉の専門職として、地域に貢献し、社会に役立ちたいという意志を有する者

② 試験日等

試験日：令和6年（2024年）11月20日（水）

学部	学 科 等		推薦区分	試験項目	試験時間	集合時刻及び集合場所
教育学部	学校教育教員養成課程	特別支援教育コース		小論文	9:30～10:40	9:00に教育学部棟玄関前に集合
				面接 (個人面接・グループディスカッション)	11:10～	
経済学部	総合経済学科		普通推薦	小論文	9:30～11:00	9:00に経済学部棟玄関前に集合
				グループディスカッション	13:00～16:00	
			商業推薦	グループディスカッション	9:00～12:00	8:30に経済学部棟玄関前に集合 ※集合時間は変更することがあります。変更する場合は令和6年（2024年）11月11日（月）までに本学ホームページ (https://www.oita-u.ac.jp) でお知らせします。
				小論文	13:30～15:00	
医学部	看護学科			小論文	9:00～11:00	8:30に校舎講義棟入口に集合 (医学部/挟間キャンパス)
				面接 (個人面接・グループディスカッション)	12:00～	
理工学部	(学科・プログラムは26ページを参照してください。)		一般推薦	基礎能力試験	9:30～11:30	9:00に理工学部第1講義棟学生ラウンジ前に集合
				面接	12:00～	
			女子枠	基礎能力試験	9:30～11:30	9:00に理工学部第1講義棟学生ラウンジ前に集合
				面接	12:00～	
				女子枠面接	面接終了後～	
			サイエンス推薦	面接 (プレゼンテーション・個人面接)	9:00～12:00	8:30に理工学部第1講義棟学生ラウンジ前に集合
福祉健康科学部	福祉健康科学科	社会福祉実践コース	普通推薦 福祉推薦	小論文	9:00～10:30	8:30に教養教育棟第一大講義室前に集合
				面接	11:00～	

【注】全学部とも、昼食を試験場に持参してください（理工学部サイエンス推薦受験者を除く）。

※遅刻による試験室への入室限度時刻は、下記のとおりです。

教育学部	<ul style="list-style-type: none"> 小論文は、試験開始後20分です。 面接は、試験開始時刻までです。
経済学部	<ul style="list-style-type: none"> 小論文は、試験開始後20分です。 グループディスカッションは、試験開始時刻までです。
医学部(看護学科)	<ul style="list-style-type: none"> 小論文は、試験開始後20分です。 面接は、試験開始時刻までです。
理工学部	<ul style="list-style-type: none"> 基礎能力試験は、試験開始後20分です。 プレゼンテーション、面接及び女子枠面接は、試験開始時刻までです。
福祉健康科学部	<ul style="list-style-type: none"> 小論文は、試験開始後20分です。 面接は、試験開始時刻までです。

③ 配点

学 部	学科・推薦別等	小論文	基礎能力試験	面 接					志望理由書	推薦書	調査書	合 計
				プレゼンテーション	個人面接	グループディスカッション	集団面接	女子枠面接				
教育学部	学校教育教員養成課程 特別支援教育コース	100			150	100						350
経済学部	総合経済学科	60				60			30			150
医学部	看護学科	100			100							200
理工学部	一般推薦		300				150			50		500
	女子枠		300				150	50		50		550
	サイエンス推薦			200	250					50		500
福祉健康科学部	福祉健康科学科 社会福祉実践コース	150			100							250

【注】必要な試験項目を受験しなかった場合は、0点でなく、不合格となります。

④ 選抜方法、面接、採点・評価等

大学入学共通テストを免除し、各試験項目、志望理由書、推薦書及び調査書に基づいて総合判定します。

【教育学部】

小論文、個人面接、グループディスカッション、志望理由書、推薦書及び調査書を総合的に評価し、合格者を決定します。

(1) 小論文

- ・現代の社会に関わる出題を行い、大学入学までに修得が期待される学力に基づく理解力、論理的思考力、表現力などを評価します。

(2) 個人面接・グループディスカッション

- ・複数の面接委員により、個人面接ではコースへの関心、意欲、理解力及び自己表現力などを評価します。グループディスカッションでは、出題されたテーマについて、集団で討論を行い、そのテーマに対する理解力や自身の考え・意見の表現力、集団における主体性や協働性、並びに教育への意欲と関心などを評価します。

(3) 調査書等

- ・志望理由書、推薦書、調査書は面接の参考にします。

【経済学部】

調査書、志望理由書、推薦書、小論文及び面接を総合的に評価し合格者を決定します。

(1) 面接

- ・面接は、課題についてのグループディスカッションを行います。

(2) 採点・評価

- ・小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。

- ・面接では、積極性や理解力、自己表現能力を評価します。
- ・調査書、志望理由書、推薦書等の提出書類では、高等学校等での活動や本学入学後の勉学意欲について評価します（志望理由書は、内容とその表現の両方を評価します）。

【医学部（看護学科）】

小論文及び面接（個人面接及びグループディスカッション）により合格者を決定します。調査書、推薦書及び自己推薦書は、参考資料として用います。

なお、同点者がいる場合は、面接の高得点者を高順位とします。

（採点・評価）

- ・小論文においては、課題式や資料式問題について解答を求め、理解力、統合力、思考力、表現力、独創性、論理性などを評価します。
- ・個人面接においては、看護学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲、自己理解力などを総合的に評価します。
- ・グループディスカッションにおいては、コミュニケーション能力、リーダーシップ、協調性などを総合的に評価します。

【理工学部】

一般推薦

基礎能力試験、集団面接、推薦書及び調査書を総合的に評価して合格者を決定します。志望理由書は参考資料として用います。

（採点・評価）

- ・基礎能力試験では、高等学校等で学習する内容に関する学力、及び科学的思考能力を評価します。
- ・推薦書及び調査書では、高等学校等での学習及び課外活動状況について評価します。
- ・集団面接では、提出書類も参考にして、志望するプログラムやそれに関わる分野への関心・意欲・理解、及び今後の目標、本学入学後の勉学意欲などについて評価するとともに積極性、自己表現力を評価します。また、志望するプログラムで必要となる、高等学校等で学習した内容に関する基礎的な学力及び科学的思考能力を判定する試問も含むことがあります。なお、グループディスカッションは行いません。面接委員からの質問に一人ずつ答えてもらいます。質問は全員に同じ場合と、別々の場合があります。

女子枠

基礎能力試験、集団面接、女子枠面接、推薦書及び調査書を総合的に評価して合格者を決定します。志望理由書は参考資料として用います。

（採点・評価）

- ・基礎能力試験では、高等学校等で学習する内容に関する学力、及び科学的思考能力を評価します。
- ・推薦書及び調査書では、高等学校等での学習及び課外活動状況について評価します。
- ・集団面接では、提出書類も参考にして、志望するプログラムやそれに関わる分野への関心・意欲・理解、及び今後の目標、本学入学後の勉学意欲などについて評価するとともに積極性、自己表現力を評価します。また、志望するプログラムで必要となる、高等学校等で学習した内容に関する基礎的な学力及び科学的思考能力を判定する試問も含むことがあります。なお、グループディスカッションは行いません。面接委員からの質問に一人ずつ答えてもらいます。質問は全員に同じ場合と、別々の場合があります。
- ・女子枠面接では、理工系分野における先端科学技術の研究開発を行いたい理由と将来の計画及び現在までの関連した取組を評価します。

サイエンス推薦

面接（プレゼンテーションと個人面接）、推薦書及び調査書を総合的に評価して合格者を決定します。志望理由書は参考資料として用います。

（採点・評価）

- ・ 推薦書及び調査書では、高等学校等での学習及び課外活動状況について評価します。
- ・ プレゼンテーションでは、高等学校等で自身が取り組んだ「科学に関する活動実績」についての発表と、それに関する質疑応答を通じて、理解力・自己表現力を評価します。発表方法や必要な資料等については下の【プレゼンテーションについて】を参照してください。
- ・ 個人面接では、提出書類も参考にして、志望するプログラムやそれに関わる分野への関心・意欲・理解、及び今後の目標、本学入学後の勉学意欲などについて評価するとともに積極性、自己表現力を評価します。また、志望するプログラムで必要となる、高等学校等で学習した内容に関する基礎的な学力及び科学的思考能力を判定する試問も含まれます。

【プレゼンテーションについて】

大学で用意するプロジェクタと Windows 搭載のパソコンで、MS PowerPoint あるいは Adobe Acrobat Reader を使用して **10 分間の発表**をしてもらいます。プレゼンテーションに備えて、以下のものを必ず提出・持参ください。

◆出願時に提出するもの

・ 科学に関する活動実績を示す資料

発表会・報告会資料等、A4 又は A3 サイズ、5 枚以内（両面可）で様式は任意ですが、志願者の名前が記入されており、部活動や特別活動で実施した場合にはその名称等、グループで実施の場合は人数と志願者の役割が分かるようにしてください。参考資料として用います。なお、発表に使用する電子ファイル（PowerPoint ファイル又は PDF ファイル）を試験当日に持参する際の保存媒体（USB メモリ又は DVD-R のみ可）についても記載しておいてください。

◆試験当日に持参するもの ※出願時に提出の必要はありません。

①発表に使う電子ファイルを保存した USB メモリ又は DVD-R

（以下は再生不良時の備えに準備しておいてください。）

②（発表に使用する電子ファイルが PowerPoint ファイルの場合）PowerPoint の発表資料を PDF 出力したファイル（上記 USB メモリ又は DVD-R に保存してください。）

③発表資料を 1 画面につき A4 用紙 1 枚に印刷したもの 1 部

※ノートパソコンを持参して発表しても構いません。プロジェクタとの接続はアナログ RGB (VGA) ケーブル又は HDMI ケーブルです。ノートパソコンの外部出力端子が対応していること（ミニ D-Sub 15 ピン、HDMI TypeA）を確認しておいてください。なお、パソコンを持参する場合でも、万一の接続不良、再生不良などに備えて、上記①～③の複数を準備し、当日必ず持参してください。

（女子枠及び一般推薦の合否判定について）

- 1) 女子枠として出願資格を満たす者は、一般推薦と併願することができます。
- 2) 合否判定では、まず女子枠志願者（女子枠専願者及び一般推薦併願者）に対して女子枠面接点を含む女子枠総合評価点の順に並べ、女子枠募集人員を目安に総合的に女子枠合格者を判定します。次に、一般推薦志願者（女子枠合否判定において不合格となった一般推薦併願者を含む）に対して総合評価点（女子枠面接点を除く）の順に並べ、一般推薦募集人員を目安に総合的に一般推薦合格者を判定します。

【福祉健康科学部】

小論文及び面接（個人面接）を総合的に評価し、合格者を決定します。志望理由書、推薦書、調査書は、参考資料として用います。

（採点・評価）

- ・小論文では、読解力、論理的思考力、表現力などを評価します。
- ・面接では、コミュニケーション力、積極性、リーダーシップなどを評価します。

3. 学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

※本学の学校推薦型選抜Ⅱに出願した者は、本学の総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）に出願することはできません。

大学入学共通テストの利用科目名は、次のように略しています。

教科	新教育課程	旧教育課程
国語	『国語』 → 国	
地理歴史※1 ※2	『地理総合、地理探究』 → 地総・地探 『歴史総合、日本史探究』 → 歴総・日探 『歴史総合、世界史探究』 → 歴総・世探 『地理総合／歴史総合／公共』 → 地総／歴総／公	『旧世界史A』 → 旧世A 『旧世界史B』 → 旧世B 『旧日本史A』 → 旧日A 『旧日本史B』 → 旧日B 『旧地理A』 → 旧地理A 『旧地理B』 → 旧地理B
公民※2 ※3	『公共、倫理』 → 公・倫 『公共、政治・経済』 → 公・政経 『地理総合／歴史総合／公共』 → 地総／歴総／公（再掲）	『旧現代社会』 → 旧現社 『旧倫理』 → 旧倫 『旧政治・経済』 → 旧政経 『旧倫理、旧政治・経済』 → 旧倫・政経
数学	『数学Ⅰ、数学A』 → 数Ⅰ・数A 『数学Ⅱ、数学B、数学C』 → 数Ⅱ・数B・数C	『旧数学Ⅰ』 → 旧数Ⅰ 『旧数学Ⅰ・旧数学A』 → 旧数Ⅰ・数A 『旧数学Ⅱ』 → 旧数Ⅱ 『旧数学Ⅱ・旧数学B』 → 旧数Ⅱ・数B 『旧簿記・会計』 → 旧簿 『旧情報関係基礎』 → 旧情基
理科※4 ※5 ※6	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 → 物基／化基／生基／地基（各出題範囲については「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」と記載） 『物理』 → 物 『化学』 → 化 『生物』 → 生 『地学』 → 地	
外国語	『英語』 → 英 『ドイツ語』 → 独 『フランス語』 → 仏 『中国語』 → 中 『韓国語』 → 韓	
情報	『情報Ⅰ』 → 情Ⅰ	『旧情報』 → 旧情

※1 「同一名称のA・B出題科目」とは、『旧世界史A』と『旧世界史B』、『旧日本史A』と『旧日本史B』、『旧地理A』と『旧地理B』を指します。

※2 「地理歴史」及び「公民」から2科目を選択する場合、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできません。また、『地理総合／歴史総合／公共』を選択した場合は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。

※3 「同一名称を含む出題科目」とは、『旧倫理』と『旧倫理、旧政治・経済』、『旧政治・経済』と『旧倫理、旧政治・経済』を指します。

※4 「基礎を付した科目」とは、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を指します。

※5 「基礎を付さない科目」とは、『物理』『化学』『生物』『地学』を指します。

※6 「同一名称を含む出題範囲・科目」とは、「物理基礎」と『物理』、「化学基礎」と『化学』、「生物基礎」と『生物』、「地学基礎」と『地学』を指します。

旧教育課程履修者に対する経過措置について

(1) 大学入学共通テストについて

旧教育課程履修者については、38、41 ページの【旧教育課程履修者等】の表に記載した経過措置科目の受験を認めます。

(2) 新・旧教育課程履修者等について

新教育課程履修者	<p>① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に令和4年4月に入学し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月に卒業見込みの者</p> <p>② 中等教育学校の後期課程に令和4年4月に進級し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月卒業見込の者</p>
旧教育課程履修者等	<p>上記以外の者</p> <p>※ 高等学校等卒業者、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。）修了者又は修了見込者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和7年3月卒業見込みであるが入学は令和4年3月以前の者など上記に該当しない者</p>

<教育学部>

① 推薦要件

次の各号に該当する者で、高等学校長、中等教育学校長、特別支援学校長及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の長が責任をもって推薦できる者

(1) 高等学校、中等教育学校、特別支援学校の高等部及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等（以下「高等学校等」という。）を令和7年（2025年）3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、令和6年（2024年）4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含む。）

(2) 合格した場合は、入学することを確約できる者

(3) 次表に掲げる推薦要件を満たす者

学部	課程・コース	推薦要件
教育学部	学校教育教員養成課程 初等中等教育コース 大分の小学校教員志望枠	人物的に優れ、かつ、初等中等教育に対する意欲と情熱を有し、教員としての適性がある者 卒業後は、大分県を中心とした地域の小学校教員を主とした学校教員として地域社会への貢献ができる者

② 試験日及び大学入学共通テスト指定教科・科目等

(1) 試験日：令和6年（2024年）11月20日（水）

学部	課程・コース	試験項目	試験時間	集合時刻及び集合場所
教育学部	学校教育教員養成課程 初等中等教育コース	面接	9:30～17:00	9:00に教育学部棟玄関前に集合

【注1】面接の待機時間中に昼食をとることがあるので、昼食を試験場に持参してください。

【注2】遅刻による試験室への入室限度時刻は、試験開始時刻までです。

【注3】面接の終了時刻は予定であり、変更することがあります。

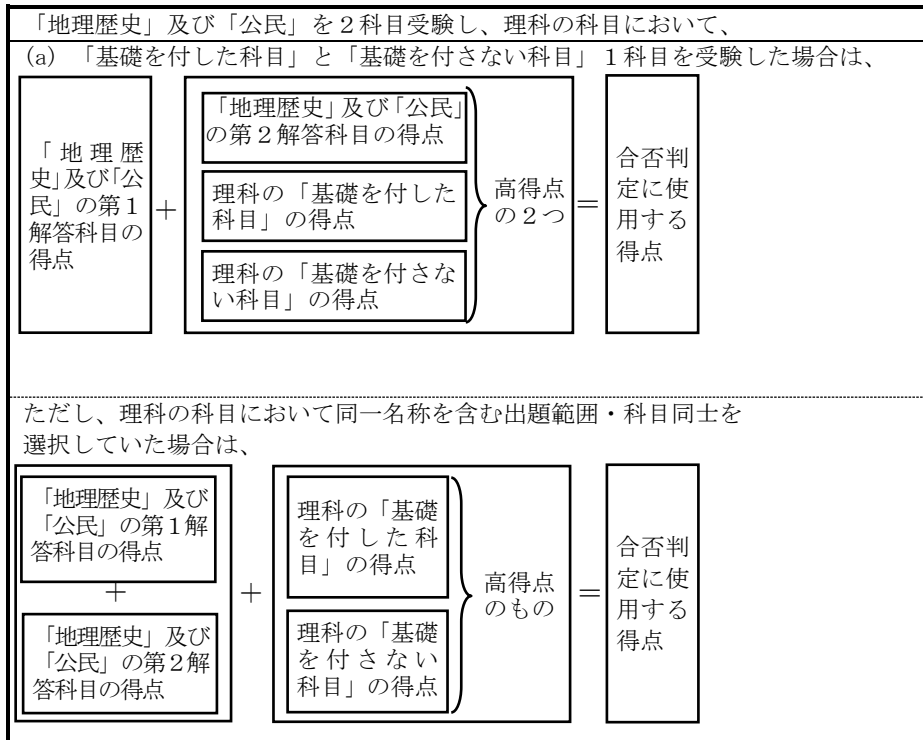
(2) 大学入学共通テストの指定教科・科目名及び配点

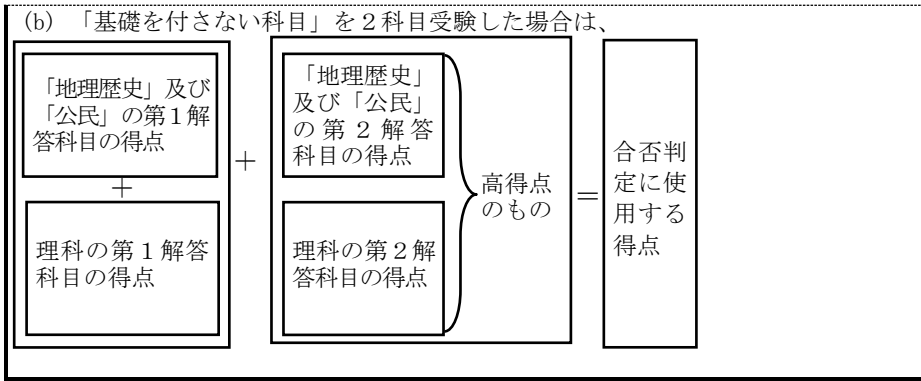
【新教育課程履修者】

学部	課程・コース	大学入学共通テスト指定教科・科目名			
		教科	科目名等	配点	
教育学部	学校教育教員養成課程 初等中等教育コース	国語	国	200	
		数学	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B・数Cの2	100×2	
		地理歴史 公民	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、 地総/歴総/公、公・倫、公・政経	から1又は2 ※2	300 (地歴公民 100又は 200、 理科200又 は100)
		理科	①物基/化基/生基/地基 ②物、化、生、地から1 ③物基/化基/生基/地基と 物、化、生、地から1 ※3 ④物、化、生、地から2	※1	
		外国語	英、独、仏、中、韓から1	200	
		情報	情Ⅰ	50	
[6教科8科目又は7教科8科目]					

- ※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」の①若しくは②、又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」の③若しくは④
- ※2 「地理歴史」及び「公民」から2科目を選択する場合、「公・倫」と「公・政経」の組合せを選択することはできません。また、「地総/歴総/公」を選択した場合は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。
- ※3 「理科」において、同一名称を含む出題範囲・科目同士を選択していた場合は、「基礎を付した科目」の得点と「基礎を付さない科目」の得点のうち高得点の得点のみを使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は、出願資格を満たさないこととなります。

(ア) 大学入学共通テストの地理歴史、公民、理科の配点の取扱いは次のとおりです。





(イ)「英語」にはリスニングを含みます。リスニングを受験しなかった場合は、受験資格はありません(リスニングを免除された者は除く)。

大学入学共通テスト「英語」はリーディング 100 点、リスニング 100 点、合計 200 点の配点となっていますが、教育学部ではリーディング 160 点、リスニング 40 点、合計 200 点満点に換算して配点します。ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点を 200 点満点に換算して利用します。

【旧教育課程履修者等】

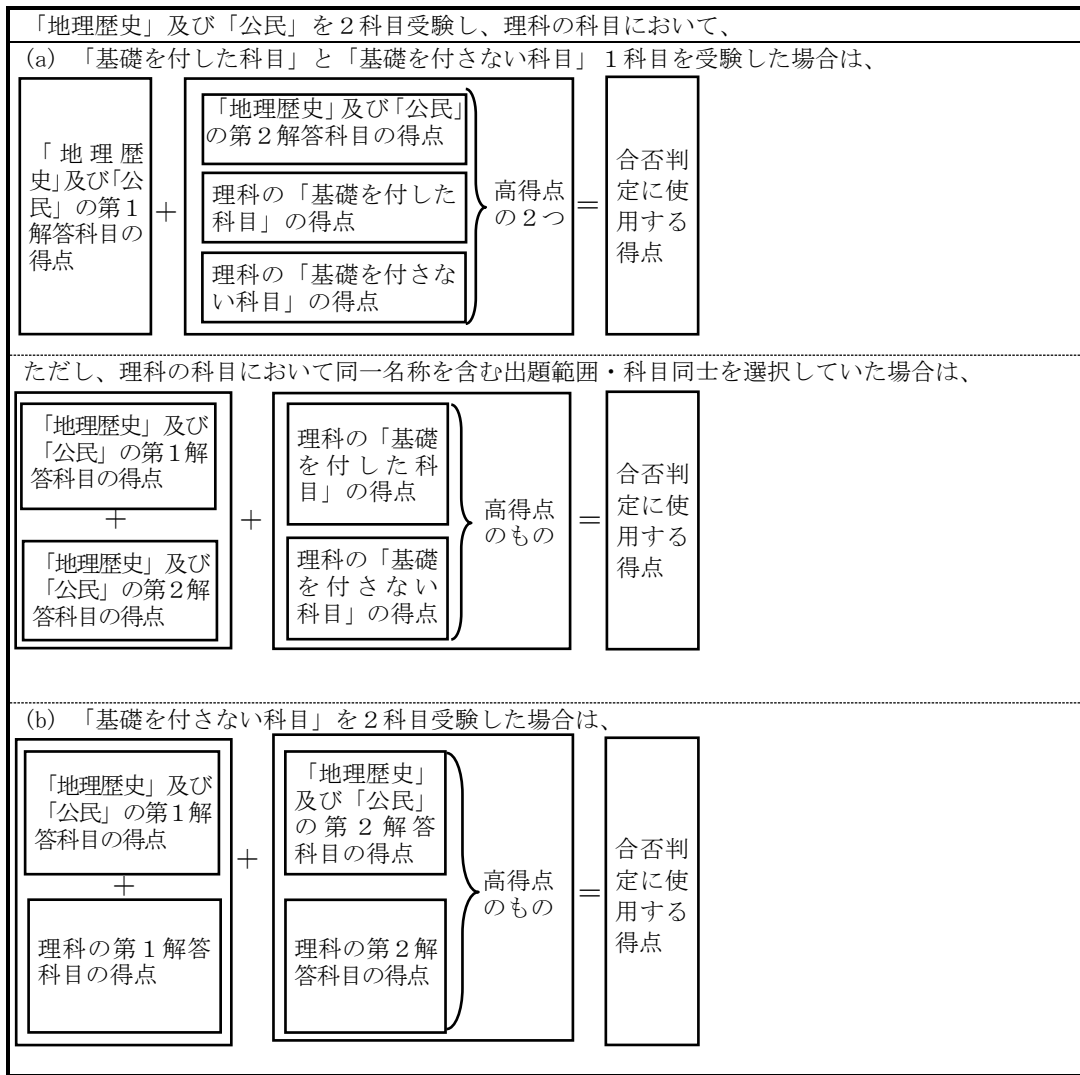
学部	課程・コース	大学入学共通テスト指定教科・科目名			
		教科	科目名等	配点	
教育学部	学校教育教員養成課程 初等中等教育コース	国語	国	200	
		数学	旧数Ⅰ・数Aと 旧数Ⅱ・数B、旧簿、旧情基から1 } の2	100×2	
		地理歴史	旧世A、旧世B、旧日A、旧日B	} から1又は2 ※2	} ※1 (地歴公民 100又は 200、 理科200又 は100)
		公民	旧地理A、旧地理B		
		理科	旧現社、旧倫、旧政経、旧倫・政経		
			①物基/化基/生基/地基 ②物、化、生、地から1 ③物基/化基/生基/地基と 物、化、生、地から1 ※3 ④物、化、生、地から2		
外国語	英、独、仏、中、韓から1	200			
情報	旧情	50			

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」の①若しくは②、又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」の③若しくは④

※2 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。

※3 「理科」において、同一名称を含む出題範囲・科目同士を選択していた場合は、「基礎を付した科目」の得点と「基礎を付さない科目」の得点のうち高得点の得点のみを使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は、出願資格を満たさないこととなります。

(ア) 大学入学共通テストの地理歴史、公民、理科の配点の取扱いは次のとおりです。



(イ) 「英語」にはリスニングを含みます。リスニングを受験しなかった場合は、受験資格はありません(リスニングを免除された者は除く)。
 大学入学共通テスト「英語」はリーディング100点、リスニング100点、合計200点の配点となっていますが、教育学部ではリーディング160点、リスニング40点、合計200点満点に換算して配点します。ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点を200点満点に換算して利用します。

(ウ) 「旧簿記・会計」及び「旧情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校若しくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了者に限ります。

③ 配点

学部	課程・コース	大学入学共通テスト	面接		志望理由書	推薦書	調査書	合計
			個人面接	グループディスカッション				
教育学部	学校教育教員養成課程 初等中等教育コース	950	300	300				1550

④ 選抜方法、面接、採点・評価等

大学入学共通テスト、個人面接、グループディスカッション、志望理由書、推薦書及び調査書を総合的に評価し、合格者を決定します。

(1) 個人面接・グループディスカッション

複数の面接委員により、個人面接では当該コースへの関心、意欲、理解力及び自己表現力などを評価します。グループディスカッションでは、出題されたテーマについて、集団で討論を行い、そのテーマに対する理解力や自身の考え・意見の表現力、集団における主体性や協働性、並びに教育への意欲と関心などを評価します。

(2) 調査書等

志望理由書、推薦書、調査書は面接の参考にします。

⑤ 同点者の取扱い

総得点が同点の場合は、大学入学共通テストの高得点者を高順位とします。

<理工学部>

① 推薦要件

次の各号に該当する者で、高等学校長、中等教育学校長、特別支援学校長及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の長が責任をもって推薦できる者

(1) 高等学校、中等教育学校、特別支援学校の高等部及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等（以下「高等学校等」という。）を令和7年（2025年）3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、令和6年（2024年）4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含む。）

(2) 合格した場合は、入学することを確約できる者

(3) 次表に掲げる推薦要件を満たす者

学部	学科・プログラム		推薦区分	推薦要件
理工学部	理工学科	建築学プログラム	一般推薦 女子枠	(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等において「物理」を履修している者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀な者 (4) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 (5) 女子枠については、上記(1)～(4)に該当する女子

※推薦要件の授業科目「物理」には「物理基礎」は該当しません。

② 試験日及び大学入学共通テスト指定教科・科目等

(1) 試験日：令和6年（2024年）11月20日（水）

学部	学科・プログラム		試験項目	試験時間	集合時刻及び集合場所
理工学部	理工学科	建築学プログラム	小論文	9:30～11:00	9:00に理工学部第1講義棟 学生ラウンジ前に集合
			面接	11:30～	
			女子枠面接	面接終了後～	

【注1】受験者によっては面接開始までに時間がかかることがあります。昼食を試験場に持参してください。

【注2】遅刻による試験室への入室限度時刻は、各試験項目に対して下記のとおりです。

- ・小論文：試験開始後20分
- ・面接・女子枠面接：試験開始時刻

(2) 大学入学共通テストの指定教科・科目名及び配点

【新教育課程履修者】

学部	学科・プログラム		大学入学共通テスト指定教科・科目名		
			教科	科目名等	配点
理工学部	理工学科	建築学プログラム	国語	国	125
			数学	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B・数Cの2	150×2
			地理歴史 公民	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、 地総/歴総/公、公・倫、公・政経から1 ※1	75
			理科	物と 化、生から1 } の2	100×2
			外国語	英、独、仏、中、韓から1	200
			情報	情Ⅰ	25
[6教科8科目]					

※1 「地理歴史」及び「公民」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、出願資格を満たさないこととなりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。

(ア)「英語」にはリスニングを含みます。リスニングを受験しなかった場合は、受験資格はありません(リスニングを免除された者は除く)。ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点を200点満点に換算して利用します。

【旧教育課程履修者等】

学部	学科・プログラム		大学入学共通テスト指定教科・科目名		
			教科	科目名等	配点
理工学部	理工学科	建築学プログラム	国語	国	125
			数学	旧数Ⅰ・数Aと 旧数Ⅱ・数B、旧簿、旧情基から1 } の2	150×2
			地理歴史 公民	旧世B、旧日B、旧地理B、旧倫・政経から1 ※1	75
			理科	物と 化、生から1 } の2	100×2
			外国語	英、独、仏、中、韓から1	200
			情報	旧情	25

※1 「地理歴史」及び「公民」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、出願資格を満たさないこととなりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。

(ア)「英語」にはリスニングを含みます。リスニングを受験しなかった場合は、受験資格はありません(リスニングを免除された者は除く)。ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点を200点満点に換算して利用します。

(イ)「旧簿記・会計」及び「旧情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校若しくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了者に限ります。

③ 配点

学部	学科・プログラム		推薦区分	大学入学共通テスト	小論文	個人面接	女子枠面接	志望理由書	推薦書	調査書	合計
理工学部	理工学科	建築学プログラム	一般推薦	925	250	300				50	1525
			女子枠	925	250	300	50			50	1575

④ 選抜方法、面接、採点・評価等

(一般推薦)

大学入学共通テスト、小論文、個人面接及び調査書を総合的に評価し、合格者を決定します。

小論文では課題について意見を問い、論理的思考力、判断力、表現力などを評価します。面接は個人面接で行い、志望理由書等も参考にして科学的思考力、建築への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。調査書では、高等学校等での学習及び課外活動状況について評価します。

(女子枠)

大学入学共通テスト、小論文、個人面接、女子枠面接及び調査書を総合的に評価し、合格者を決定します。

小論文では課題について意見を問い、論理的思考力、判断力、表現力などを評価します。面接は個人面接で行い、志望理由書等も参考にして科学的思考力、建築への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。調査書では、高等学校等での学習及び課外活動状況について評価します。女子枠面接では、建築分野における先端科学技術の研究開発を行いたい理由と将来の計画及び現在までの関連した取組を評価します。

⑤ 同点者の取扱い

総得点が同点の場合は、大学入学共通テストの高得点者を高順位とします。

⑥ 女子枠及び一般推薦の合否判定について

(1) 女子枠として出願資格を満たす者は、一般推薦と併願することができます。

(2) 合否判定では、まず女子枠志願者（女子枠専願者及び一般推薦併願者）に対して女子枠面接点を含む女子枠総合評価点の順に並べ、女子枠募集人員を目安に総合的に女子枠合格者を判定します。

次に、一般推薦志願者（女子枠合否判定において不合格となった一般推薦併願者を含む）に対して総合評価点（女子枠面接点を除く）の順に並べ、一般推薦募集人員を目安に総合的に一般推薦合格者を判定します。

〈以下「学校推薦型選抜Ⅰ」「学校推薦型選抜Ⅱ」共通事項です。〉

4. 出願期間及び出願手続

学校推薦型選抜は、インターネット（登録はスマートフォン可）を利用した出願です。従来の紙媒体での出願はできませんので、ご注意願います。出願に当たっては、下記①～④の全ての手続が必要です。いずれか1つでも出願期間内に完了できない場合、出願を受理できません。

出願書類提出期間：令和6年（2024年）11月1日（金）～11月7日（木）17:00まで（必着）

※インターネット出願登録及び入学検定料の支払いは10月25日（金）から可能です（下記①～④）。

①インターネット出願システムにアクセス・入力・登録（一時保存可）

下記の URL からインターネット出願システムにアクセスし、ガイダンスページにて出願方法及び入学検定料支払い方法等を確認の上、出願登録を行ってください。（本学が出願登録業務を委託した外部サイトにつながります。）なお、この URL は本学ホームページからもリンクしています。

インターネット出願システム <https://www.guide.52school.com/guidance/net-oita-u/>

※登録にはメールアドレスが必要です。登録したメールアドレス宛に、出願情報登録完了等の確認メールを送信します。なお、スマートフォンのメールアドレスでも登録できます。

※必要事項の入力が完了した時点（入力内容の確認画面）で入力内容を印刷し、**一時保存する**ボタンを押して、一度画面を閉じます。印刷物により出願登録した内容に間違いがないことを確認した上で、出願手続を再開してください。

スマートフォンを利用するなど印刷ができない場合は、画面上で十分確認してください。

※入学検定料の入金前であれば、登録内容の削除が可能です。

②入学検定料 17,000 円の支払い（別途払込手数料 900 円が必要です。）

※入学検定料の支払い手続完了後は、登録内容の変更はできません。

③証明写真データのアップロード及び登録

④「出願確認票」及び「宛名ラベル」の印刷並びに出願書類送付

入学検定料の支払い及び証明写真データの登録完了後に印刷が可能となりますので、インターネット出願システムから **A4** サイズの普通紙に**カラー印刷**し、「宛名ラベル」を市販の角形2号封筒（240 mm×332 mm）に貼り付け、「出願確認票」及び「調査書」等出願に必要な書類（次ページの表参照）をこの封筒に入れ、上記**出願書類提出期間中**に本学に到着するように「**速達書留**」で**郵送**してください。

ただし、郵送が出願期間に間に合わない場合は、**11月7日（木）**に限り、**持参**を認めます。

（受付時間は、9:00～17:00まで）

【注】出願書類提出期間後に到着した出願書類は受理しませんので、郵便事情を十分考慮して早めに発送してください。

※インターネット出願登録ができる環境がない場合は、早めに大分大学学生支援部入試課にご相談ください。

問合せ先

問合せ先	問合せ内容
志願受付操作サポート窓口 TEL：0120-752-257 (出願登録期間の9:00～20:00)	インターネット出願システムについて ・操作方法 ・入学検定料支払い方法 ・証明写真データアップロード方法 等
大分大学学生支援部入試課 TEL：097-554-7471 (平日の9:00～17:00) E-mail：nyukikak@oita-u.ac.jp	入試全般について ・出願資格 ・入試科目 ・出願書類 ・入学検定料免除 等

出願に必要な書類等

(1) 出願書類等 (出願期間に間に合うよう準備をしてください。)

書類等名	内容等	該当者	
インターネット出願システムより登録・印刷	出願確認票 (提出用)	インターネット出願システムの「申し込み一覧」→「出願の手続」→「出願書類」の「2. 出願書類の郵送」の「No.1 出願確認票 (提出用)」をA4サイズの普通紙にカラー印刷し、提出してください。	全員
	(証明写真データの登録)	インターネット出願システムの「申し込み一覧」画面の「写真の登録・確認」から、志願者本人の写真をアップロードし、登録してください。 ※写真は、100KB～5MBのjpg又はpngデータとし、上半身、無帽、正面向きで、本人であると確認できるものを登録してください (横に伸びたものなど、本人確認に適さない写真は登録しないでください)。	全員
	宛名ラベル	インターネット出願システムの「申し込み一覧」→「出願の手続」→「出願書類」の「2. 出願書類の郵送」の「No.3 宛名ラベル」を印刷し、43ページの④のとおり貼り付けてください。	全員
志願者が各自で準備するもの	調査書	文部科学省所定の様式で、出身学校長等が令和6年(2024年)4月以降に作成し厳封したもの。	全員
	推薦書	本学ホームページより所定の様式をダウンロードし、出身学校長(指導教諭含む)等が作成し、厳封したもの。 なお、様式の記入要領を十分確認の上、作成してください。	全員
	志望理由書	本学ホームページより所定の様式をダウンロードし、 志願者が自筆 で作成したもの(A4サイズ片面印刷)。 ※教育学部初等中等教育コース(大分の小学校教員志望枠)志願者は、志望理由書に大分の教員を志望する理由を含めてください。	教育学部 経済学部 理工学部 福祉健康科学部
	科学に関する活動実績を示す資料	発表会・報告会資料等(コピー可)A4又はA3サイズ、5枚以内(両面可)で様式任意。※発表に使用する電子ファイルの保存媒体(USB又はDVD-R)も記載すること。	理工学部 (サイエンス推薦)
	自己推薦書	本学ホームページより所定の様式をダウンロードし、 志願者が自筆 で作成したもの。	医学部(看護学科)
	令和7共通テスト成績請求票(国公立推薦型選抜用) (出願時は提出不要ですが、 期日までに必ず提出してください。)	大学入試センターから受験票の送付を受ける際に同封される「令和7共通テスト成績請求票(国公立推薦型選抜用)」を、本学ホームページよりダウンロードした所定の様式に貼り付け、 令和6年(2024年)12月20日(金)まで(必着) に、書留で郵送してください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center;">推薦 令和7共通テスト成績請求票 国公立推薦型選抜用</p> <p style="text-align: center;">200011-1001X-1 (コマバタロウ) 駒場太郎</p> </div>	教育学部(初等中等教育コース) 理工学部(建築学プログラム)
入学検定料 (17,000円)	インターネット出願システムの「お支払い方法確認」画面にて確認の上、お支払ください。 出願書類を受理した後は、次の場合を除き、納入した入学検定料は返還できません。 (ア) 入学検定料を振込んだが出願しなかった場合(返還額: 17,000円) (イ) 入学検定料を誤って二重に振込んだ場合(返還額: 17,000円) ※上記(ア)、(イ)に該当する場合は、45ページ「(4) 入学検定料の返還請求」を参照してください。 災害で被災された志願者には、本学が認めた場合、入学検定料免除の特別措置を行いますので、出願前に学生支援部入試課(TEL: 097-554-7471)へ連絡してください(46ページ参照)。	全員	

(2) 出願に際しての注意事項

- (ア) 国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）の学校推薦型選抜は、大学入学共通テストを課すもの及び課さないものを含めて、1つの大学・学部には出願できません。
- (イ) 出願書類等に不備があるものは受付できません。
- (ウ) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (エ) 出願時に本学への出願資格として必要な高等学校等での修得科目等を修得予定の者（未修得者）は、入学時に修得の有無を確認し、未修得の場合は入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (オ) 出願書類等は受付後は返却できません。
- (カ) 改姓等により、現在の氏名と各提出書類の氏名が相違する場合は、戸籍抄本又は戸籍謄本を提出してください。

(3) 出願書類等の提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

(4) 入学検定料の返還請求

入学検定料を振込んだが出願しなかった場合、入学検定料を誤って二重に振込んだ場合は、出願期間終了後直ちに、次の①～⑥を明記した「入学検定料返還請求願」（A4サイズ、様式任意）を作成して、封筒（表に「入学検定料返還請求願在中」と朱書きしたもの）に入れ、次の請求先に郵送してください。「入学検定料返還請求願」を受理後、返還に必要な書類を送付します。

- ・「入学検定料返還請求願」に記載する事項
 - ①整理番号、②氏名（フリガナ）、③郵便番号及び住所、④連絡先電話番号、⑤入試区分、⑥返還請求理由
- ・請求期限：令和6年（2024年）11月22日（金）
- ・請求先：〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

5. 受験票（受験番号確定メールの送信・受験票の印刷）

受験番号確定メールは11月12日（火）に送信します。メール受信後、インターネット出願システムから受験票を各自でA4サイズ普通紙にカラー印刷して試験当日持参してください。

なお、メール送信日から3日経過しても受験番号確定メールが届かない場合は、速やかに大分大学学生支援部入試課に連絡してください。

6. 個人情報の取扱い

- (1) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- (2) 志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシー」に基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除（猶予）、奨学金の申請及び留学を希望した場合には、その選考資料として利用することがあります。

- (3) 一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。ついては、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

7. 障がいのある者等の事前相談

障がいを有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、次の要領で申し出てください。

(1) 申出期限

令和6年（2024年）10月16日（水）17:00までに申し出てください。ただし、期限後に不慮の事故等により障がいのある状態になったときには、その時点で速やかに申し出てください。

申請期間経過後でも可能な限り相談に応じますが、十分な対応ができない場合もあります。

(2) 申出方法

本学ホームページより「令和7年度（2025年度）大分大学入学者選抜試験受験上の配慮申請書」をダウンロードして必要事項を記入し、診断書等必要書類添付の上、提出してください。必要な場合は、本学において、志願者本人又はその立場を代弁しうる関係者等との面談を行います。

(3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

8. 災害で被災した者等の入学検定料等の免除及び修学上の特別な配慮について

災害に関する特別措置（入学検定料、入学料・授業料免除等）につきましては、本学ホームページ (<https://www.oita-u.ac.jp/01oshirase/important.html>) でお知らせします。

9. 受験に際しての注意事項

- (1) 30、36及び40ページに記載している集合時刻までに集合場所に集合し、入室後は監督者の指示に従ってください。
- (2) 試験中は、本学受験票を必ず机の上に置いてください。
- (3) 受験票、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計機能のみの時計（キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可。）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋から取り出したもの）、目薬以外のものを机の上に置かないでください。なお、他の持ち物については、監督者の指示に従ってください。
- (4) 遠方からの受験者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分ゆとりをもって行動してください。
- (5) 試験当日は渋滞が予想されますので、時間に余裕をもって試験場に到着するようにしてください。
- (6) 携帯電話等の電子機器類（以下、携帯電話等という）の使用について
 - ・試験室内では、休憩時間中でも携帯電話等の音の出る機器の使用を一切禁止します。
 - ・試験時間中は、時計代わりに携帯電話等の計時機能を使用することはできません（机の上に置くこともできません）。
 - ・試験室に入る前に、携帯電話等のアラームの解除と電源が切れていることを必ず確認してください。アラームの設定ができる時計についても、必ずアラームは解除して使用してください。
 - ・携帯電話等には、電源を切っていても、アラームを設定していると、設定した時刻に電源が入り、アラームが鳴る機種があります。機種に関わらず、アラームの解除と電源が切れていることを確認

し、身に付けずに、かばん等にしまってください。

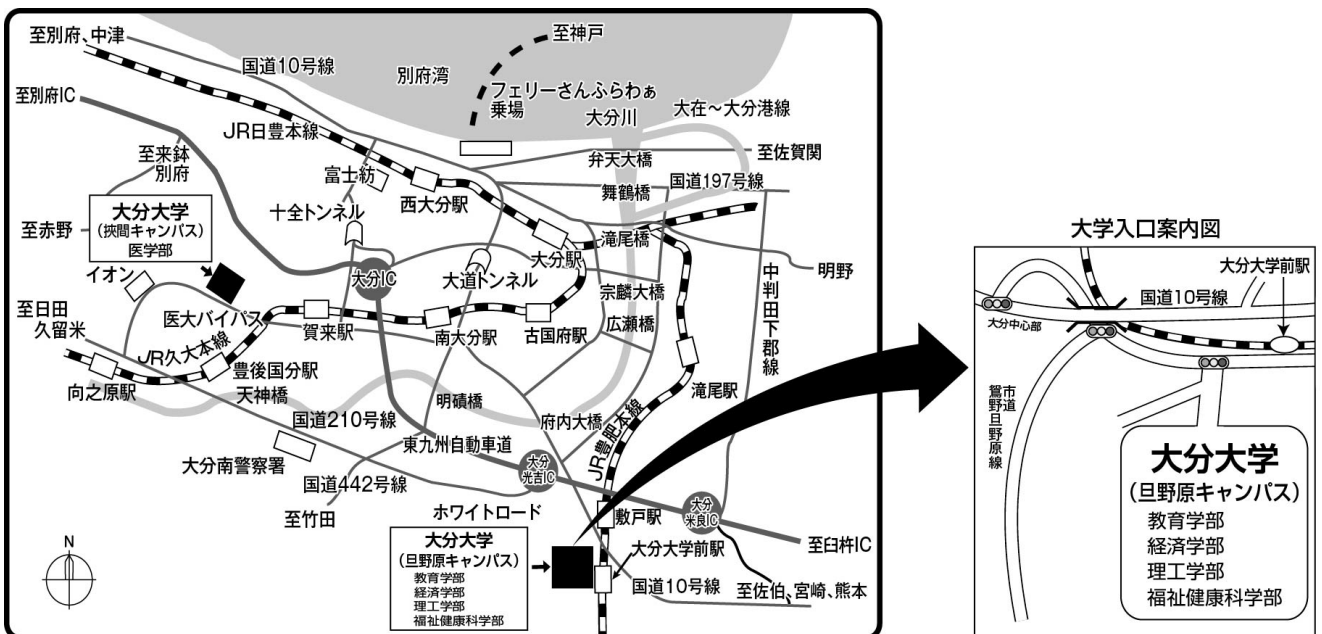
- ・アラームの解除方法が分からない人や電源の切り方が分からない人、しまっておくかばん等がない人は、試験場本部や試験監督者又は大学の試験担当職員に受験番号と名前を告げ、携帯電話等を預けて指示に従ってください。

10. 試験場

学部名	試験場	所在地
教育学部 経済学部 理工学部 福祉健康科学部	大分大学 <small>だんののはる</small> 巨野原 キャンパス	大分市大字 <small>だんののはる</small> 巨野原 700 番地
医学部	大分大学 <small>はきま</small> 挾間 キャンパス	由布市挾間町 <small>ゆふしはきままちだいがおか</small> 医大ヶ丘 1 丁目 1 番地

- (1) 試験場の下見は、試験日前日の 14:00~16:00 の間に行ってください。ただし、建物内に入ることはできません。
- (2) 各試験場及び試験室は掲示板で確認してください。
- (3) 試験当日は、できる限り公共交通機関等を利用してください。やむを得ず、自動車等で来学する場合は、係員の指示に従ってください。また、挾間キャンパスには十分な駐車場がありませんので、公共交通機関等を利用してください。
- (4) 挾間キャンパスでは、試験時間中に医学部附属病院高度救命救急センターのドクターヘリによる患者緊急搬送が行われる場合があります、その離着陸の際、一時的に大きな音が発生することがあります。この場合は生活騒音として扱い、原則、試験を続行することとしていますので、あらかじめご了承ください。

○ 大分大学位置図



○ ^{だんの はる} 巨野原キャンパス

対象学部 教育学部・経済学部・理工学部・福祉健康科学部

所在地 大分市大字巨野原 700 番地

T E L 097-554-7471 (学生支援部入試課)

交通アクセス

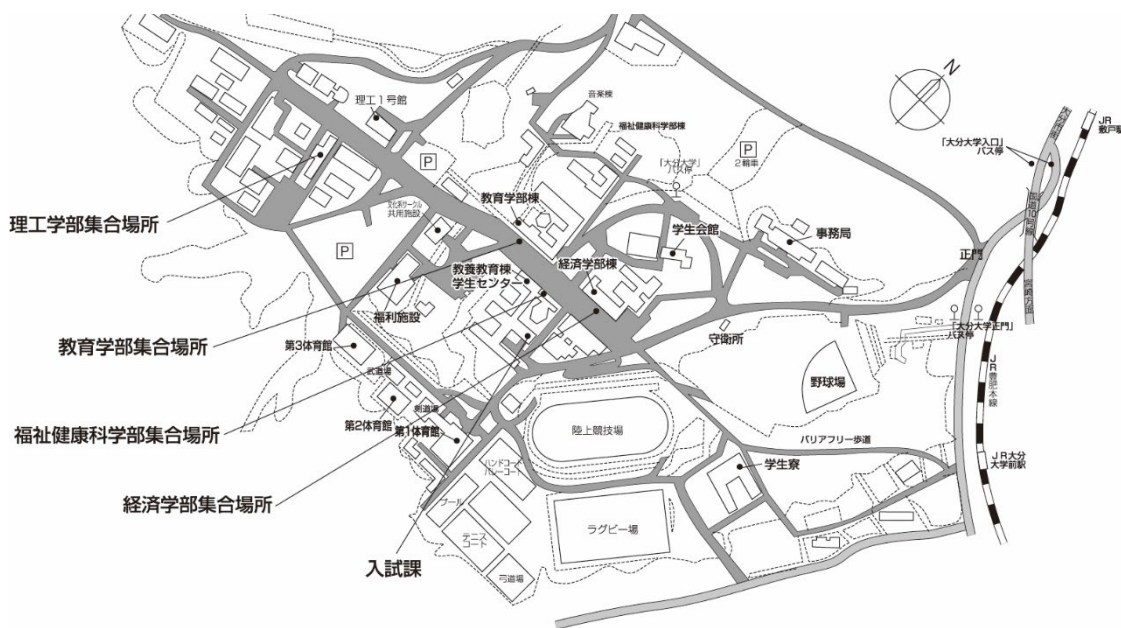
〈JR利用〉○JR豊肥本線「大分大学前駅」下車(大分駅より約15分)、徒歩約10分

〈バス利用〉大分バス [中央通り①のりば(トキハデパート前)] 又はJR大分駅府内中央口

(北口) [大分駅前3番又は4番のりば] から

○「大南団地(高江ニュータウン)」行きを利用(約40分)、「大分大学」又は「大分大学正門」下車

○「戸次、臼杵、佐伯」行きを利用(約40分)、「大分大学入口」下車、徒歩約10分(詳細は時刻表で確認してください。)



○ ^{はきま} 狭間キャンパス

対象学部 医学部

所在地 由布市狭間町医大ヶ丘1丁目1番地

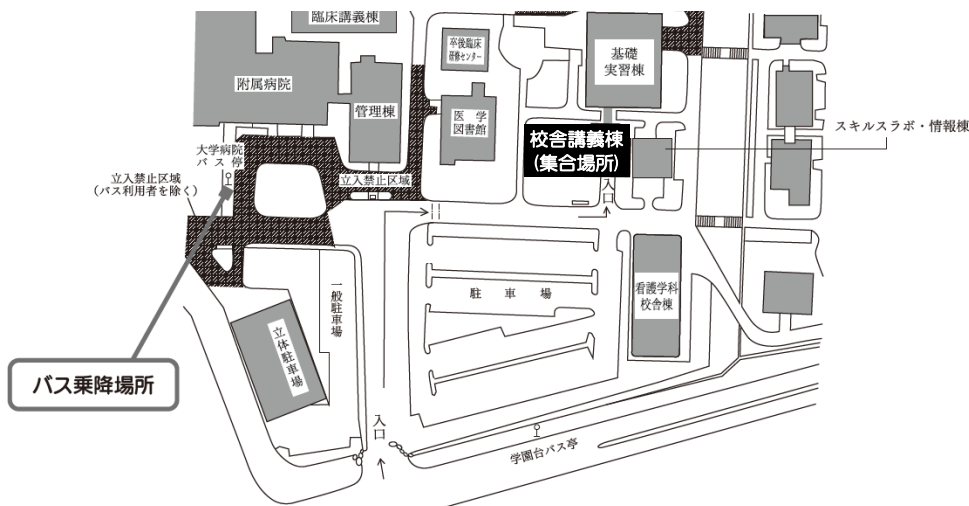
T E L 097-586-5540・5541 (医学・病院事務部学務課総務・入試グループ)

交通アクセス

〈バス利用〉大分バス [中央通り②のりば(トキハデパート前)] 又はJR大分駅府内中央口(北口)

[大分駅前5番のりば] から、「大学病院」行き又は「大学病院」経由を利用(約40分)

「大学病院」下車(詳細は時刻表で確認してください。)



11. 不正行為の取扱い

- (1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての試験項目の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。
- (ア) 出願確認票、受験票又は解答用紙へ故意に虚偽の記入（出願確認票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入することなど。）をすること。
- (イ) カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- (ウ) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- (エ) 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- (オ) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- (カ) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- (キ) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
- ※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請（46 ページ参照）が必要です。）
- (ク) 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- (ケ) 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- (2) 上記（1）以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記（1）と同様です。
- (ア) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- (イ) 試験時間中に携帯電話等や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- (ウ) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- (エ) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (オ) 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- (カ) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

12. 合格者発表

学校推薦型 選抜 I	教育学部（特別支援教育コース） 経済学部 医学部（看護学科） 理工学部（建築学プログラム以外） 福祉健康科学部	令和 6 年（2024 年）12 月 2 日（月）10：00
学校推薦型 選抜 II	教育学部（初等中等教育コース） 理工学部（建築学プログラム）	令和 7 年（2025 年）2 月 12 日（水）10：00

合格者は上記の日時に本学ホームページ(<https://www.oita-u.ac.jp/>)に受験番号を掲載します。また、合格者本人宛に合格通知を送付するとともに、出身高等学校長等に選考結果を通知します。※これら以外の可否通知等については、本学は責任を負いません。

13. 入学手続等

合格者には、合格通知とともに入学手続に必要な案内を送付します。

(1) 入学手続期間

令和7年(2025年)2月13日(木)～2月19日(水)17:00まで(必着)

入学手続は郵送のみとします。

教育学部(初等中等教育コース)、理工学部(建築学プログラム)の入学手続には**大学入学共通テスト受験票**も必要ですので、受験後も保管しておいてください。

学校推薦型選抜合格者は推薦要件にて「**入学することを確約できる者**」となっています。ただし、特別の事情により本学に入学できなくなった場合、出身高等学校長等は至急「学校推薦型選抜入学辞退願」(A4サイズ、様式任意)を大分大学長宛に提出してください。入学手続期間最終日までに許可された場合は入学を辞退することができます。

入学辞退が許可された場合を除き、他の国公立大学・学部(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)の入学許可は得られません。

入学手続期間最終日の17:00までに入学手続を完了しないときは、本学の学校推薦型選抜合格者としての権利を消失します。

※公立大学協会ホームページ(<https://www.kodaikyo.org/?cat=26>)参照

(2) 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円(前期分 267,900円 後期分 267,900円)

【注1】入学料については、日本学生支援機構の給付奨学金(貸与奨学金ではありません。)の予約候補者は入学料が全額又は一部が免除となりますので入学料は納付しないでください。また、入学手続期間中に入学料の納付が困難な場合は一時的に徴収を猶予する制度があります(最大6か月)。授業料についても同様に日本学生支援機構の給付奨学金の採用候補者は授業料が全額又は一部が免除となります。また、本学独自の授業料奨学融資制度があります。詳細については学生・留学生支援課奨学支援係(TEL:097-554-7376)までお問い合わせください。

【注2】入学料・授業料は改定されることがあります。

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定後の授業料が適用されます。

【注3】既納の入学料は原則返還できません。

【注4】日本学生支援機構の給付奨学金(貸与奨学金ではありません。)の予約候補者又は入学料の徴収猶予を申請される方は、入学料を払い込まずに入学手続期間に合格通知とともに送られてくる書類の指示に従って必要な手続を行ってください。ただし、これらの申請を行って入学手続を完了した後、入学を辞退した場合は、直ちに入学料を納付しなければなりません。

14. 一般選抜への出願

学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さないもの)志願者が不合格となった場合は、一般選抜(前期日程から1つ、後期日程から1つ、公立大学中期日程から1つの合計3つまで)の国公立大学・学部に出願することができます。

学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課すもの)志願者は、一般選抜(前期日程から1つ、後期日程から1つ、公立大学中期日程から1つの合計3つまで)の国公立大学・学部に出願することができます。

15. 入学試験個人成績の開示

本学では、学校推薦型選抜個人成績を、受験者本人からの請求に基づいて下記の要領で開示します。

(1) 開示請求者

本学が実施する令和7年度（2025年度）学校推薦型選抜を受験した者

(2) 開示請求の方法

インターネット出願システム上で、出願登録時に「入試成績の開示請求」の欄を「請求する」と選択してください。

※学校推薦型選抜個人成績開示請求は出願手続の際に行う必要があります。

(3) 開示請求期間

令和6年（2024年）10月25日（金）～11月7日（木）17:00まで

(4) 開示内容

- ・本学入学試験成績（学校推薦型選抜）

合格者・不合格者（共通）	総得点（受験した科目等ごとの内訳を含む。）及び合格者（追加合格者を除く）の最高点・最低点及び平均点。
--------------	--

※ただし、「最高点・最低点及び平均点」は、合格者が10名以内の場合は不開示とします。

(5) 開示期間

令和7年（2025年）6月2日（月）～6月30日（月）

(6) 開示の方法

- ・入学試験個人成績開示をオンライン上で実施します。
- ・開示期間中は専用サイトに受験番号、生年月日、パスワード（インターネット出願登録時のセキュリティコード）でログインの上、入学試験個人成績を確認できます。
- ・詳細は令和7年5月中旬ごろに本学ホームページに掲載します。

(7) 手数料

1選抜ごとに600円を徴収します。入学検定料の支払い時に併せてお支払いください。

(8) 注意事項

- (ア) 開示請求期間を過ぎての開示請求は原則受け付けません。
- (イ) 郵送、電話、メール及び本学入試課窓口での開示請求は受け付けません。
- (ウ) 既納の手数料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ・入学検定料と手数料を払い込んだが出願しなかった場合
 - ・入学検定料と手数料を誤って二重に払い込んだ場合

16. 高大接続学習

【経済学部】

合格者には、入学までの間、本学から学習課題を課します。

この学習課題は、高校段階の学習履歴を基に、大学入学後の学習をスムーズに開始できることを目的として、合格者が意欲的に取り組むことを課せられたプログラムです。なお、昨年度の学習課題は次のとおりです。

普通推薦合格者の課題

科目等	課 題
英語	①英検の受験とその成績表の提出
数学	①解答を書き込んだ問題集の提出（入学後に確認試験あり）
国語表現	①解答を書き込んだ「文章読解・作成能力検定」公式テキストの提出
	②「誤答・練習ノート」の提出
	③「文章読解・作成能力検定」受検
eラーニング	①インターネットを使用した入学前学習システム「Basic Study Camp」の課題

商業推薦合格者の課題

科目等	課 題
英語	①英検の受験とその成績表の提出
数学	①解答を書き込んだ問題集の提出（入学後に確認試験あり）
国語表現	①解答を書き込んだ「文章読解・作成能力検定」公式テキストの提出
	②「誤答・練習ノート」の提出
	③「文章読解・作成能力検定」受検
簿記	①解答を書き込んだノートの提出
eラーニング	①インターネットを使用した入学前学習システム「Basic Study Camp」の課題

【教育学部（特別支援教育コース）、理工学部、福祉健康科学部】

合格者には、入学までの間、本学から学習課題を課します。必ず期限内に提出してください。

【医学部（看護学科）】

本学からの学習課題は課しません。

17. その他

不測の事態が発生した場合の問合せ先は、学生支援部入試課（TEL：097-554-7471）です。また、特別な場合を除き追試験等は実施しません。

18. 受験の際の宿泊

宿泊については大分大学生生活協同組合でも案内しています。希望する者は下記 URL（大分大学生生活協同組合ホームページ）を確認してください。

<https://coop.kyushu-bauc.or.jp/ooita-coop/>

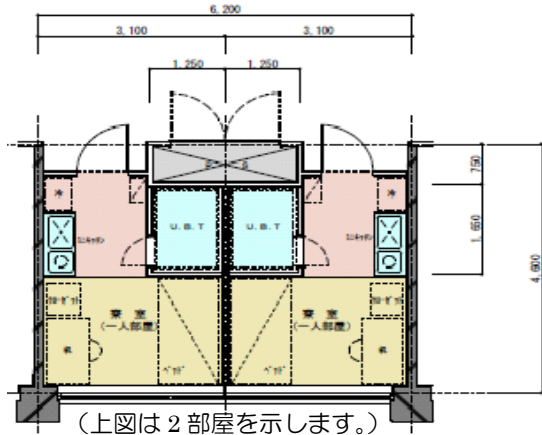
19. 大分大学学生寮のご案内（予告）

※内容は変更になる可能性があります。正式な募集内容については、本学ホームページへ掲載する募集要項をご覧ください。

学生の居住施設として、旦野原キャンパス内に学生寮を設置しています。

入寮者の選考は、経済的事由及び地理的事由（通学に要する時間が90分以上）を考慮して行います。

＜学生寮の概要＞



←部屋の様子はこちらから

対象学生	収容人員	居室		建物構造
		部屋数	定員	
一般学生・外国人留学生	290人	290室	1人	鉄筋5階建

(バリア・フリータイプの居室、男女各1室を含む。(主に、肢体不自由のある学生用))

男子・女子ゾーンによるエリア区分（女子ゾーンは男子入室禁止、男子ゾーンは保護者を除き女子入室禁止）

■居室の形態 単身用個室タイプ（約12m²）

ベッド（マットなし）、机・椅子、クローゼット、エアコン、UBT（ユニットバス・トイレ）、ミニキッチン（IH）、インターネット配線・TV配線付

＜必要経費＞

(金額は消費税率等により変更になる可能性があります。)

居室使用料	維持管理費・水道料	インターネット使用料 (全員加入)	維持管理一時金 (退去時原形復旧費)
20,000円/月	4,000円/月	2,037円/月	26,400円/入居時

・電気料は自己負担となります。(ガスは使用しません。)

＜入寮許可期間等＞

■入寮許可期間：学部生…4年間（医学部医学科は6年間）

3年次編入学生…2年間（医学部医学科の2年次編入学生は5年間）

大学院生…標準修業年限（課程により2年間～4年間）

■募集人員：募集要項にてご確認ください。

＜選考区分等＞

区分	選考Ⅰ	選考Ⅱ
選考対象	一般選抜（前期日程）・学校推薦型選抜・総合型選抜・帰国生徒選抜・社会人選抜・編入学試験の合格者	一般選抜（後期日程）・大学院入試の合格者
申込期間	令和7年(2025年)1月27日(月)～2月12日(水)（入試出願期間と異なりますので注意してください。）	
結果通知	令和7年(2025年)3月11日(火)	令和7年(2025年)3月24日(月)

■試験種別によっては、入学試験前の申込となりますのでご注意ください。

■大学院入学生については、選考Ⅱにより選考しますが、入試日程により対応できないことがあります。

＜入寮者募集要項の入手方法＞（募集要項公表予定：令和6年(2024年)12月上旬）

本学ホームページからダウンロードしてください。（ホームページ → 学生生活 → 学生寮・アパート）右の二次元バーコードからもアクセスが可能です。

大分大学学生・留学生支援課学生支援係 TEL：097-554-7443 E-mail：seiksien@oita-u.ac.jp



令和8年度大分大学入学者選抜方法の変更について（予告）

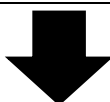
【理工学部】

- 帰国生徒選抜において、次のとおり試験科目（理科）の変更を行います。

【変更前】

プログラム	数理科学プログラム 知能情報システムプログラム DX人材育成基盤プログラム 生命・物質化学プログラム 地域環境科学プログラム
理科	「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」

} から 1



【変更後：令和8年度入試以降】

プログラム	数理科学プログラム 知能情報システムプログラム DX人材育成基盤プログラム 生命・物質化学プログラム 地域環境科学プログラム
理科	「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」

} から 1

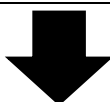
- 私費外国人留学生選抜において、次のとおり試験科目（理科）の変更を行います。

(1) 日本留学試験で課す科目

【変更前】

理科	物理 化学 生物
----	----------------

} から 2 科目



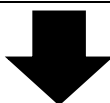
【変更後：令和8年度入試以降】

理科	物理及び化学の2科目
----	------------

(2) 本学で実施する学力試験等

【変更前】

プログラム	数理科学プログラム 知能情報システムプログラム DX人材育成基盤プログラム 生命・物質化学プログラム 地域環境科学プログラム
理科	「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」 } から1科目



【変更後：令和8年度入試以降】

プログラム	数理科学プログラム 知能情報システムプログラム DX人材育成基盤プログラム 生命・物質化学プログラム 地域環境科学プログラム
理科	「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 } から1科目

入学試験に関する問合せ先

〒870-1192 おおいたしおおあざだんのはる
大分市大字巨野原700番地
大分大学学生支援部入試課
TEL 097-554-7471
FAX 097-554-7472
URL <https://www.oita-u.ac.jp/>